

# ほすびたる

No.696

平成28年1月20日  
福岡県病院協会

C O N T E N T S

新年の挨拶	年頭のごあいさつ	福岡県知事 小川 洋	1
	新年のご挨拶	公益社団法人福岡県医師会 会長 松田峻一良	2
	新年のご挨拶	公益社団法人福岡県病院協会 会長 石橋 達朗	3
会員広報	第7回福岡県病院協会参与・各種 委員会正副委員長・役員懇談会報告	公益社団法人福岡県病院協会 専務理事 上野 道雄	5
新人物	新年明けまして おめでとうございます。	久留米大学医療センター 病院長 内分泌代謝内科 教授 廣松 雄治	12
看護の窓	卒後2年目看護師への メンタルサポート研修を行なって	国立病院機構福岡東医療センター 教育担当師長 井上 範子	13
各種委員会 の紹介 No.5	リハビリテーションの抱える 諸問題と委員会活動	リハビリテーション委員会 委員長 医療法人共和会小倉リハビリテーション病院 名誉院長 浜村 明德	15
Letter	サル、猿、申、 そして猿人	国立病院機構九州医療センター 名誉院長 学校法人原学園原看護専門学校 学校長 朔 元則	18
Essay	風見鶏が消えた	元医療法人誠十字病院 平衡神経科 医師 安田 宏一	20
	人体旅行記 足	国立病院機構九州医療センター 医療情報管理センター 部長 吉住 秀之	21

■福精協の広場 『私的音楽事情』	医療法人和光会 一本松すずかけ病院 作業療法士 安部 尊大	23
■福岡県私設病院協会 平成27年12月福岡県私設病院協会の動き		24
■福岡県病院協会だより		25
■編集後記	岡嶋泰一郎	37

# Teleradiology Service. and ASP Service.

確かな診断を、より確かなものに。  
ネットワークを利用した読影サービスで、  
あなたをバックアップします。



## Teleradiology

～遠隔画像診断サービス～  
医療に地域格差があってはならない  
そう私たちは考えます。

## ASP Service

～遠隔画像診断ASPサービス～  
放射線科の先生向けに、遠隔  
読影システムから課金に至るまで  
統合的にサービスをご提供します。

## 株式会社ネット・メディカルセンター

〒815-0081 福岡市南区那の川1丁目24-1  
九電工福岡支店ビル6階  
フリーダイヤル:0120-270614 FAX:092-533-8867  
ホームページアドレス <http://www.nmed-center.co.jp/>

## 寝具・病衣・白衣・タオル及びカーテンのリース洗濯 患者私物衣類の洗濯

☆寝具・カーテン・看護衣・診察台カバー・タオル・紙おむつ・レセプト用紙  
介護用品等の販売、ベッドマットリース・販売、給食材料・給食依託業者・  
重油等の斡旋及び各種保険の取扱いもしております。

福岡県私設病院協会グループ

## 福岡医療関連協業組合

Clean & Comfortable



理事長 陣内重三

専務理事	吉松 秀則	理事	佐田 正之
理事	原 寛	監事	牟田 和男
理事	武田 正勝	監事	津留 英智
理事	江頭 啓介	事務局長	関 賢司

〒811-2502 糟屋郡久山町大字山田 1217-17  
TEL 092-976-0500 / FAX 092-976-2247

# 年頭のごあいさつ

福岡県知事

小川 洋



新年あけましておめでとうございます。公益社団法人福岡県病院協会の皆さまには、晴れやかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

皆さまには、日ごろから県民の健康の増進と地域医療の確保にご尽力いただき、心から感謝申し上げます。

去年は、ラグビーワールドカップ2019の福岡での開催決定、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の世界文化遺産登録、『『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群』の世界遺産推薦候補決定など、元気な福岡県を国内外に発信する年になりました。また、ラグビーワールドカップ2015イングランド大会での県ゆかりの代表選手の大活躍、福岡ソフトバンクホークスの日本シリーズ連覇、アビスパ福岡の5年ぶりのJ1昇格と大いに盛り上がりました。

福岡県の経済も、有効求人倍率が過去最高の水準で推移するなど、緩やかに回復しつつあります。この回復をしっかりとしたものにし、県民の皆さまに回復を実感していただけるよう全力を挙げて取り組みます。

福岡県は、人口が増え続けている数少ない県の一つです。その一方で、わが国の高齢化は急速に進展し、生活習慣病などの慢性疾患の増加から、療養や介護の長期化が課題となっております。県民一人一人が住み慣れた地域で生活しながら、必要な医療を受けられるよう、医療と介護の連携をはじめ、地域医療の充実に取り組んでいく必要があります。

県では、在宅医療・介護サービスの提供体制の整備を進めるとともに、生活習慣病予防や介護予防の促進、地域住民や事業者による一人暮らし高齢者の見守り活動など、地域で支え合う体制づくりの推進に取り組んでいます。昨年4月には、機構改革により「高齢者地域包括ケア推進課」を新設し、高齢者施策の推進体制の強化を図ったところです。

また、昨年から、改正医療法に基づき、地域における効率的かつ効果的な医療提供体制を確保するために、地域ごとに地域医療構想の策定を進めているところです。地域の実情に応じた、適切な機能分化・連携が図れるような構想の策定をはじめ、本県の医療行政の推進にあたっては、地域医療の重要な担い手である皆さまのご協力が不可欠です。

今後も、就任以来取り組んできた「県民幸福度日本一の福岡県」の実現に向け、良質な医療提供体制の確保をはじめ、県民の皆さまの生活の安定・安全・安心の向上に努めてまいります。貴協会におかれましても、石橋会長のもと、本県の医療をリードしていただけるようご期待申し上げますとともに、今後とも、皆さまのご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びにあたり、新しい年が、貴協会ならびに会員の皆さまにとって、飛躍の一年となりますよう、心からお祈りいたします。

# 新年のご挨拶

公益社団法人福岡県医師会

会長 松田 峻一良



新年明けましておめでとうございます。健やかに2016年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。福岡県病院協会の皆様には日頃から医師会業務にご協力賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、西アフリカを中心に流行したエボラ出血熱や韓国で発生したMERSなど様々な感染症が猛威を振るいました。また、日本では自然災害が頻発しました。本会では、九州各県並びに山口県医師会と協力し、被災県医師会からの情報伝達が不可能な場合も独自の判断で支援活動が行えるよう支援体制を構築しております。災害はいつ起こるのか予想がつきません。それだけに日頃から意識して磐石な体制を構築しておくことが非常に重要です。

地域医療構想策定につきましては、昨年10月から地域医療構想策定会議、調整会議が始まり、現在策定の議論が開始されています。従来から申し上げますとおり、地域医療構想策定に関しては、画一的な構想ではなく、地域の実情に応じた構想を策定することが必須です。引き続き医師会が中心となり尽力してまいりますのでご協力賜りますようお願い申し上げます。

また、昨年10月1日より、医療事故調査制度が開始されました。福岡県医師会では、制度開始からすぐに当該医療機関への支援が行えている状況にあります。これも、全国に先駆けて行った「診療行為に関連した死亡の福岡県医師会調査分析事業」においてご協力いただいたお蔭であると深く感謝申し上げます。本制度においては、まだ様々な問題が挙げられておりますが、我々にとって、自らが行った医療行為に過誤がないことを明らかにするための手段として非常に有意義なものだと考えております。医療従事者が公正に擁護され、救われることは勿論ですが、何よりも会員医療機関が安心して医療提供ができることを第一に考え今後も支援していきたいと考えております。

ご存知のとおり、医療界はかつてない激変のときを迎えており、患者個々の状況に即した良質かつ適切な医療を提供する体制作りが非常に重要となります。

一方で、我が国の長期債務が1,100兆円を超えるなか、将来的には労働人口の減少に加えて社会保障費は高齢化の進展に伴い医療、介護等を中心にさらなる増加が予想され、国家財政上の大きな課題となっております。そのため、財政を緊縮しようとする立場から診療報酬のみならず、社会保障費全体の機械的な抑制が叫ばれております。しかし、社会保障とは国が国民の生活を保障するものであり、われわれには、国民の生命と健康を守るという確固たる使命があります。そして、先達が残し引き継いできた偉大なる歴史と制度、「国民皆保険」という貴重な財産を地域医療提供体制を維持する基本的な仕組みとして守り抜き、次の世代に繋いでいくことが重要な責務であります。

医療を取り巻く問題は山積しておりますが、新年を迎えるにあたり、今一度決意をあらたにし、将来を担う若い医師が誇りと希望をもてるような地域医療再生の年となるよう、役職員一同、努力してまいりますので、皆様のご協力、ご支援を頂きますようお願い申し上げます。

なお、本年は、日本医師会の役員改選の年となります。現在、横倉義武先生が日本医師会会長として、強いリーダーシップを発揮され、政府の骨太の方針への対応、16年度診療報酬改定、消費税率引き上げに関する議論など、様々な難題に正面から取り組んでおられます。地域医療と地域医師会、日本医師会の役割を把握されております先生だからこそ、医療政策の信念を貫き、国との折衝に充分にお力を発揮されているのだと思います。既に、福岡県医師会、九州医師会連合会は、次期会長選挙への立候補の要請をさせていただきました。引き続き、皆様のご支援をお願い申し上げます。

# 新年のご挨拶

公益社団法人福岡県病院協会

会長 石橋 達朗



2016年をいかがお迎えでしょうか。新年明けましておめでとうございます。今年が皆様にとって、よい年でありますことをお祈りいたします。

昨年の医療界では、大村智先生（北里大）のノーベル生理学・医学賞受賞という誇らしく嬉しいニュースがありました。群馬大学、東京女子医科大学の医療事故や聖マリアンナ医科大学の精神保健指定医の不正取得など、大学病院に対する国民の信頼を損ねる事件も多かったように思います。また医療制度では、新専門医制度、医療事故調査制度などが新しい進展を見ようとしています。

病院経営に携わる皆様にとっては、一昨年来からの消費税増税による負担増や診療報酬の実質マイナス改定の影響による厳しい経営、また病床機能報告による病床再編・調整への対応など、ご苦労の多い一年ではなかったでしょうか。

九州大学病院における昨年の一番の出来事は、4月に「国際医療部」を設置し、スタートさせたことです。また国立大学附属病院の全体の取組みとしては、冒頭に申し上げた群馬大学などの医療事故を受けて、大学病院における医療安全を確実なものにし、その信頼回復に努力することを肝に銘じた一年でもありました。そのような中で、12月に東京デイズニderlandからミッキー・マウスとミニが入院中の子供たちの慰問に来てくれたことは昨年のハイライトでした。

新設した「国際医療部」の取組みに関し、少しご紹介します（詳しくは、来月の本紙に掲載予定）。当部は、以下の3つのセンターで構成され、本年1月1日付けで着任された清水周次教授のもとスタートしました。①「アジア遠隔医療開発センター」では、これまで、本院とアジア各国や欧米を含む世界52カ国の医療機関との間で、インターネットを用いた高解度医療映像（先端的な手術映像や内視鏡医療等の高度な日本の医療技術）を送・受信し、テレカンファレン

スにより最先端の医療技術の習得に役立ててきましたが、これを更に推進、発展させ医療教育に取り組んでいきます。②「国際診療支援センター」では、日本に在住・滞在中の外国人患者さんの受け入れをスムーズにすることや、海外在住でも日本の高度医療を必要とする患者さんを積極的に受け入れることを目指してまいります。③「海外交流センター」では、九州大学医系キャンパス全体において、海外とのインバウンド・アウトバウンド事業の情報を集約・管理し、医・歯・薬連携の戦略的な国際展開を図っていくこととされています。

このほか、地域の医療機関との連携強化については、昨年9月に福岡県歯科医師会との協定により県内の歯科医院と連携して、周術期の患者さんの口腔ケア管理を一体的に進めていくこととなりました。また、12月には西日本では初めて「福岡県摂食障害治療支援センター」が開設され、摂食障害に苦しんでおられる患者さんの相談支援体制を強化したところです。

さて、本年は、診療報酬改定の年です。改定率については、薬価・医療材料のマイナスを受けて、全体ではマイナス1.03%ですが、診療報酬本体はプラス0.49%となることが公表されております。2年前の改定では「消費税増税補填分が各医療機関の実情と合っていない」との声もあり、今回も、各医療機関への影響がどのようになるか、注視していく必要があります。また、病床機能報告に基づく病床調整や地域医療構想策定の動きも本格化します。福岡県病院協会でも、当構想の策定状況などの情報をいち早く把握し、各種研修会や当機関誌などを通じて情報交換できるよう努めてまいりたいと考えており、皆様方のご協力をよろしくお祈りいたします。

最後に、皆様方のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

# 謹賀新年

## 公益社団法人 福岡県病院協会役員一同

役職名	氏名	病院名及び役職
会長	石橋達朗	九州大学病院 病院長
副会長	坂本照夫	久留米大学病院 病院長
〃	佐多竹良	産業医科大学病院 病院長
〃	竹中賢治	福岡市立病院機構 福岡市民病院 院長
専務理事	上野道雄	国立病院機構 福岡東医療センター 院長
総務理事	安藤文英	医療法人 西福岡病院 理事長
財務理事	平祐二	医療法人 原三信病院 理事長兼院長
企画理事	津田泰夫	福岡通信病院 院長
理事	飯田三雄	公立学校共済組合 九州中央病院 病院長
〃	一宮仁	国家公務員共済組合連合会 浜の町病院 院長
〃	江頭啓介	医療法人社団江頭会 さくら病院 理事長兼院長
〃	大塚毅	宗像医師会病院 院長
〃	岡留健一郎	福岡県済生会福岡総合病院 病院長
〃	小野典之	公立八女総合病院 企業長
〃	壁村哲平	福岡市医師会成人病センター 院長
〃	小柳左門	社会医療法人 原土井病院 病院長
〃	島弘志	社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 病院長
〃	津留英智	医療法人社団水光会 宗像水光会総合病院 理事長
〃	寺坂禮治	福岡赤十字病院 院長
〃	中山真一	医療法人相生会 宮田病院 病院長
〃	二宮英彰	福岡県立精神医療センター 太宰府病院 院長
〃	深堀元文	医療法人社団益豊会 今宿病院 理事長兼院長
〃	村中光	国立病院機構 九州医療センター 院長
〃	吉村恭幸	一般財団法人 福岡県社会保険医療協会 会長
監事	田中二郎	飯塚病院 顧問（前院長）
〃	福重淳一郎	福岡市立病院機構 福岡市立こども病院 名誉院長（前院長）
〃	八木博司	特定医療法人八木厚生会 八木病院 会長
議長	岡嶋泰一郎	社会保険仲原病院 院長
副議長	梅野守男	早良病院 院長
顧問	今泉暢登志	医療法人済世会 河野病院 院長
〃	河野正美	医療法人済世会 河野病院 理事長
〃	瓦林達比古	公益財団法人 福岡県すこやか健康事業団 理事長
〃	草場公宏	船員保険 福岡健康管理センター 顧問
〃	久保千春	九州大学 総長（福岡県病院協会前会長）

（平成28年1月1日現在：五十音順）

# 第7回 福岡県病院協会 参与・ 各種委員会正副委員長・役員懇談会 報告

会員  
報告

◎公益社団法人 福岡県病院協会 専務理事 上野 道雄

日 時 平成27年12月8日（火）  
17：00～18：10  
場 所 ホテルセントラーザ博多 3階「橋の間」  
福岡市博多区博多駅中央街4-23  
出席者 病院協会参与7名、各種委員会正副  
委員長等12名、役員21名 計40名

石橋会長挨拶の後、会長が座長となって議事が進められた。

## 1 参与の紹介（上野専務理事）

- ・当日出席された7名の参与（花岡夏子参与、有馬千代子参与、有田徹也参与（松尾憲之代理）、嶋山一仁参与（小林達也代理）、堺祥子参与、中西裕二参与、田川大介参与）を順次紹介され、参与は各々簡単に挨拶された。

## 2 第9回県民公開医療シンポジウムの報告

（小野運営委員長）

今年の県民公開医療シンポジウムは、8月1日（土）に久留米市の「えーるピア久留米」において開催した。約140名にご参加いただき、盛会裏に終了することができた。

テーマは「医と食と～健康被害とアレルギー～」、座長を原三信病院院長の平祐二先生と福岡市医師会成人病センター院長の壁村哲平先生に、総合司会を福岡市民病院の塚崎恵子看護部長にお願いするとともに、3名のシンポジストを迎えた。

講演1「意外に知られていない食物・薬物のアレルギーについて」と題して、久留米大学医学部皮膚科学講座主任教授の名嘉真武國先生に、講演2「食物アレルギーの予防と治療」と題して、福岡市立こども病院総合診療科の

手塚純一郎先生に、講演3「知っておきたい機能性表示食品」と題して、久留米保健所所長星子美智子先生にご講演頂いた。講演後に質疑応答の時間を設け、会場の皆さんから多くの質問があり、座長と講師の方に分かり易く回答して頂いた。質問の内容から、食やアレルギーに対する関心の高さが伝わった。

会計報告としては、収入はプログラム掲載広告料として33の会員病院から99万円、支出は講師などへの謝金15万円など計78万円でした。

## 3 各委員会からの報告

### ア【病院研修会】

病院委員会委員長 上野道雄  
福岡県医師会副会長  
国立病院機構福岡東医療センター院長

本年は、10月1日に医療事故調査制度が発足し、2025年を踏まえた地域医療構想が県内全体や各種医療圏で協議され、専門医研修の開始も迫っている。日本の医療の将来を左右する大変重要な時期であり、どの課題をテーマにするか、難しい選択であった。医療事故調査制度は調査委員会の委員長を院外専門委員が勤めることを始め、福岡県医師会が始めた福岡県医師会方式にほぼ準拠している。今回の医療事故調査制度は当該病院が主体で、支援団体の支援を得て院内事故調査委員会を開催し、報告書を作成することになっている。この点が、従前の「診療行為に関連した死亡の調査分析事業」と異なる点である。更には、対象事例の選択も病院管理者の判断に委ねられている。成否が病院の姿勢や日々の医療安全体制に負うところが大きい。医療事故には病院や医師の誰

もが遭遇する可能性があり、当該病院が事故調査制度を熟知して支援団体の協力を仰ぎ、真摯な対応を実施すると患者の信頼度を増し、病院職員を護ることに繋がる。そこで、院外委員が委員長を勤める調査委員会を平成16年に始め、日本医師会、厚生労働省、日本医療安全調査機構との協議に立ち合い、日本医師会医療安全対策委員会副委員長の上野福岡県病院協会専務理事が「医療事故調査制度と院内の医療安全」に関して報告の予定です。今回の医療事故調査制度では病院管理者の果たす役割が大きく、病院幹部が看護師や事務職と共に出席されることをお願いします。

#### イ【看護研修会】

看護委員会委員長 濱田正美  
九州大学病院看護部長

看護研修会は、看護委員会規程により、担当理事2名・福岡県内の4大学の看護部長・公的病院の看護部長3名・民間病院の看護部長4名の計13名の構成により、看護職員の資質向上を図ることを目的に企画・運営を行っている。

研修会は、看護職員のニーズを考慮しながら現場の問題に即した内容を中心に、年4回開催している。参加者は1回平均330名（平成26年度）を数え、どの研修会においても看護職員の研修への意欲の高さを感じるものである。ここ数年は、パートナーシップ・ナーシングシステム（PNS）に関する研修のニーズが高く4年連続で開催している。今年も488名の参加者を集めた。例年、福井大学から講師をお招きしての基調講演を行っていたが、今年度は福岡県内でPNSに取り組んでいる3施設の代表の方にご講演いただいた。より具体的な問題や取組みが共有できたのではないだろうか。他、3回の研修会もコミュニケーションや在宅看護、認知症患者への看護等、現場に活かせる研修会を開催し多くの参加者を集めている。

一方で、研修会の企画・運営、特に運営は開催する担当病院の人的・時間的・経済的負担があるのも感じている。また、研修会曜日等についても引き続き検討課題である。

#### <今年度の研修会内容>

- 第142回（6/10）  
人間関係・コミュニケーション・コーチングに関する内容
- 第143回（8/7）  
パートナーシップ・ナーシングシステム（PNS）に関する内容
- 第144回（10/2）  
在宅医療に関する内容
- 第145回（12/18）  
認知症看護、せん妄ケアに関する内容

#### ウ【診療情報管理研究研修会】

診療情報管理研究委員会委員長 阿南誠  
国立病院機構九州医療センター  
実務総括管理者  
（代理出席 秋岡美登恵）

本協会の村中、平担当理事のご指導のもと、本研究会は活動しているが、平成27年度は、8月28日（金）に九州大学百年講堂にて第51回の研修会を開催した。また、次回は、平成28年2月もしくは3月に第52回を開催予定としている。

近年は、平成28年1月から、全国がん登録の開始、ICD-10の2013年版への切り替え等、診療情報管理に関わる大きなイベントが始まることもあり、診療情報管理士を中心として診療情報管理への意識が高くなっている。もちろん、DPCや地域医療構想策定等、診療情報管理と切り離せないイベントも並行して目白押しであり、本研修会への期待も非常に大きくなっている。第51回の研修会についても、216名の参加者を集め、盛会であった。また、本研修会が日本診療情報管理学会の認定研修会となったことで、県外からの参加者も増加している。第51回の研修会においては、地域医療構想を厚生労働省の中心となってまとめられた、厚生労働省医政局地域医療計画課在宅医療推進室長 佐々木昌弘先生を、また、この10月から開始された医療事故調査制度について、日本医療安全調査機構 中央事務局長の木村壯介先生をお招きしたが、実際にコアとなりこ

これらの施策を作り上げた講師をお招き出来たことで参加者の満足度も高かったのではないかと評価している。次回の研修会においては、診療報酬改定の時期であり、それを意識した研修会の開催を計画しているところである。

## エ【リハビリテーション研修会】

リハビリテーション委員会委員長 浜村明徳  
医療法人共和会小倉リハビリテーション  
病院名誉院長

リハビリテーション研修会は発足3年目であるが、毎回参加者が300名を越え、関係者の認知が定着しつつあると思われる。

急性期・地域包括ケア病棟・回復期リハビリテーション病棟・療養病床などでリハビリテーションが実施され、在宅復帰が目指されている。その後は、介護保険でリハビリテーションが継続されるが、その連携のあり方も課題となっている。

本年度は、このような状況を踏まえ、10月24日、「地域包括ケアシステム構築を目指した在宅復帰のあり方」をテーマに、松田晋哉教授（産業医科大学医学部公衆衛生学）の基調講演、「どのような在宅復帰をめざすべきか」をテーマに、浦川雅広氏（飯塚病院）、福田裕樹氏（八女リハビリテーション病院）、井澤秀紀氏（原土井病院）、長嶺眞智子氏（親和会共立病院）、柴口里則氏（福岡県介護支援専門員協会）、岩野歩氏（コールメディカルクリニック福岡）によるシンポジウムを開催した。

会場の席数に限りがあり、申し込みをお断りしたため、関係機関に多大な迷惑をおかけした。後援をいただいている関係団体の積極的な広報もあり、参加者は、313名（会員218名、会員外95名）であった。

活発な意見交換がなされ、組織内の多職種協働から地域のネットワークづくりに活動が広がりつつあること、生活する患者・利用者に視点を置いた支援が重要であることなど医療機関に地域への近接性が求められていることを確認した。

年度末には、診療報酬改定に関する研修会を

開催する予定である。

## オ【栄養管理研修会】

栄養管理委員会委員長 山口貞子  
九州大学病院栄養管理室長

第64回栄養管理研修会を開催しました。研修のポイントは「高齢化になり、栄養面においても高齢者に関わる栄養管理が注目されています。高齢になれば認知症を伴う患者も少なくなく、疾患の治療を行なう上で、それぞれの疾患に適した食事が必要です。そこで高齢者にも多い疾患の糖尿病、死亡率第1位である『がん』、サルコペニア予防のリハビリ栄養についての3つのテーマについて」です。実施日は平成27年8月29日（土）10:00～16:20、場所は九州大学病院臨床大講堂、参加人数は256人。今回は、例年の会場である九州大学医学部百年講堂が改修工事中のため使用できず、250人収容の会場であったため、福祉施設への案内を見合わせました。その結果もあり昨年より少ない人数でした。次にアンケート調査を行いましたので、簡単に報告します。回収率は88.7%で、職種の内訳は約半数が管理栄養士（48.9%）、次いで看護師（41%）でした。研修会の評価の結果は約80%が「内容」非常に良い・だいたい良い、「理解」よくわかった・わかった、「活用度」非常に役に立つ・役に立つでした。参加した理由は、「テーマに興味があったから」が一番多かったです。次回の研修会で希望されているテーマは、「高齢者の栄養管理」が一番多く、次いで「糖尿病」でした。ご希望と意見については、53件中、会場についての意見が17件とあり、今後は百年講堂での実施を考えています。講義については、大変勉強になったとの意見が多かったです。

この結果を参考に次回の研修会を計画していきたいと考えています。

## カ【病院システム管理研修会】

臨床検査委員会委員長 阿部英二  
北九州市立医療センター臨床検査技師長

臨床検査委員会では病院システム管理研修会を年1回開催しています。

平成26年度は「チーム医療の取り組み Part 2」をテーマにコメディカルにおけるチーム医療の取り組みについて、病院薬剤師や看護師、そして我々臨床検査技師の施設におけるチーム医療の取り組みについて御講演をいただきました。

平成27年度は精度管理についての研修会を企画いたしました。メインテーマは「最近の統一化に向けた精度管理の動き」と題し、臨床検査技師業務における様々な分野の精度管理についてその方法や考え方についての研修をしていきたいと思っています。現在、臨床検査の中で生化学検査や血液検査はある程度確立された精度管理の方法があり施設間において、それほど差はありませんが、他の分野では施設により様々な方法で精度管理がされています。そこで今回の研修会では生化学検査に加え輸血検査、生理検査、微生物検査の四つ分野に焦点をあて、精度管理の方法や考え方について御講演をいただく予定です。特別講演は熊本大学医学部附属病院中央検査部技師長の池田勝義先生より、最近の精度管理の動向について御講演をいただく予定です。精度管理に興味のある方はもちろん、自施設の精度管理の方法に不安を持たれている方々にとっては大変有意義な研修会になるものと確信いたしております。

## キ【経営管理研究会】

経営管理委員会委員長 大石潔  
国家公務員共済組合連合会浜の町病院  
事務部長

### 1, 委員会開催報告

- 1) 第1回経営管理委員会  
(平成27年3月27日)  
第1回経営管理研究会開催打合せ
- 2) 第2回経営管理委員会  
(平成27年12月17日開催予定)  
第2回経営管理研究会開催打合せ

## 2, 研究会開催報告

### 第1回経営管理研究会

開催日：平成27年4月25日(土曜日)  
会場：九州大学病院講義棟「臨床大講堂」  
テーマ：「いよいよ始まった地域医療策定！

何が変わるのか？」

演題：「地域医療構想について」

厚生労働省医政局地域医療計画  
課課長補佐 廣澤友也先生

「地域医療構想の考え方」

産業医科大学医学部公衆衛生学  
教室 教授 松田晋哉先生

参加者：198名(会員病院 174名、会員  
外病院 24名)

※参加者へのアンケート調査を実施

会員施設の皆様からは、当研究会の開催テーマとして「医療政策」又は「医療経営・管理」に関する要望が多いため、第2回研究会は要望を視野に検討することとした。

### 第2回経営管理研究会(予定)

開催日：平成28年3月開催

会場：未定

仮題：「新たな制度への対応(ストレスチェック、無期雇用制度、マイナンバー)」又は「2018年改正を視野にした2016年診療報酬改正」

## 3, 第2回委員会(平成27年12月17日開催予定)協議事項

- ・第2回経営管理研究会のテーマ及び演題、演者について

演題としては「新たな制度対策」又は「診療報酬改正」等を検討しているが、会員の皆様がより身近に感じるテーマを委員会で協議のうえ決定したい。

また、診療報酬改正の個々の項目については医事研究会でも企画されていると思われるため、地域医療構想及び医療・介護同時改正となる2018年改正を見据えた大きな

流れについての講演会が望ましいと考える。

#### 4, 次年度の取組み

2025年を見据え医療機関を取り巻く環境が大きく変わろうとしている。今後、地域医療構想、病床機能報告制度等、医療経営の根幹となる制度の細目が明示されてくると思われるので、会員施設の皆様方に新鮮な情報を提供できるよう取り組んでいきたい。

#### ク【医療事務研究会】

医療事務委員会副委員長 大谷哲也  
医療法人相生会杉岡記念病院医事課長補佐

平成 26 年度

第 114 回医療事務研究会 開催

日 時：平成 27 年 3 月 18 日（水）

場 所：九州大学医学部百年講堂  
福岡市東区馬出 3 - 1 - 1

講 師：(株)ヘルスケア経営研究所  
副所長 酒井 麻由美 先生

研修内容：「福岡県における増減点・返戻の現状と対応策」

近年、支払基金および国保連合会の一次審査、二次審査による減点の状況が厳しく（増えている）になっている。

審査による減点内容の基準が支払基金、国保連合会で統一されていないのが現状であり、診療報酬明細書（レセプト）を作成する各医療機関の医事課の担当者は大いに戸惑いを感じている。

今回の研究会はアンケート調査により福岡県内の現状を把握して頂き規模別、診療行為別に適切な指導を頂いた。

今回の研修を今後のレセプト請求業務に役立てて頂きたいと思っている。

平成 27 年度

第 115 回医療事務研究会 予定

日 時：平成 28 年 3 月 29 日（火）

場 所：九州大学医学部百年講堂  
福岡市東区馬出 3 - 1 - 1

講 師：(株)ヘルスケア経営研究所  
副所長 酒井 麻由美 先生

研修内容：「2016 年診療報酬改定の概要」

2016 年 4 月は診療報酬改定が実施される年である。

規模別・機能別に沿ったアドバイスを酒井先生から講演を頂き、各医療機関での改定対応の参考になればと考えている。

#### 4 参与のご意見

- ① 花岡参与（福岡県看護協会 会長）の意見
  - ・病院協会の各委員会の活動がとても活発であることを改めて感じた。
  - ・特に看護研修会はタイムリーなテーマで看護職員の興味を惹くようなものを継続してやっておられて敬服している。
  - ・他の研修会についても、看護職員が多数参加しているものがあり、看護協会としても広報に努めていきたい。
- ② 有馬参与（福岡県薬剤師協会 副会長）の意見
  - ・診療報酬改定に関しては開局薬剤師に厳しいものがあるが、薬剤師会としては地域包括ケアや健康サポート支援にも前向きに取り組んでいるところである。
  - ・活発な委員会活動に関してはとても参考になった。地域包括ケアや在宅医療について今後とも病院協会の先生方とともに歩んでいきたい。
- ③ 松尾氏（福岡銀行 有田参与の代理）の意見
  - ・初めて参加したが、新鮮な気持ちで聞かせて頂いた。
  - ・銀行ではヘルスケアグループに属しており皆さんに大変お世話になっている。
  - ・以前飯塚病院に 2 年半ほど出向していたことがある。病院の皆さんは忙しい中で、自

己研鑽意欲が高く、いつも勉強しておられると感じていた。

- ・今後、銀行員として研鑽に努め、皆様の役に立つように頑張っていきたい。

④ 小林氏（西日本シティ銀行 鳴山参与の代理）の意見

- ・毎回研修会の報告を聞かせて頂いている。皆さん積極的に参加され、定員オーバーの研修会もあると聞いて非常に感心している。
- ・今興味があるものとして診療報酬改定がある。これに関して年度末にリハビリテーション研修会が予定されているが、中医協の総会で厳しい方針が出されており、方針を踏まえて実施されるのは効果的である。また、社会保障審議会から診療報酬に関する基本方針が出されているが、効果的、効率的という言葉が何度も使われている。方針では、実績が評価されることが明確であるので、それを踏まえた研修会にして頂きたい。

⑤ 堺参与（福岡県弁護士会 弁護士）の意見

- ・ご多忙な中、熱心な委員会活動をされていることに敬服している。
- ・今年は、特に弁護士として医療事故調査制度が発足したことに関心を寄せている。
- ・医療事故調査制度は各病院が主体であるので、いかに病院の医療安全体制を管理するかに関わってくる。今後とも日々の医療体制に配慮されながら、医療の安全そして信頼の構築に頑張っていきたい。

⑥ 中西参与（公認会計士協会北部九州会 公認会計士）の意見

- ・2年目の参加となる。研修会は内容も専門的で出席者も多く、特に言うべき意見もないが、会計や税務と医療の関わりで意見を述べたい。
- ・近年消費税の増税もあったが、会計面では2年前に医療法人の会計基準が整備された。また、会計監査については本当に有効なのかなどと疑われている面もあるが、見える化、透明化という点で会計監査を受けて頂

き、改善に繋げていくことは流れとしてある。その先に見えるものとしてグループ化が進んだり、M&Aが出てくることもある。

- ・経営管理の強化ということに結びつくように数字を知って動くことが重要。

- ・社会の中で医療に限らず数値化が進んでおり、当事者が自らの力を伸ばしていくためには会計が役に立つ。
- ・会計に関する研修会はなかったが、なにか考えて頂きたい。

⑦ 田川参与（西日本新聞社 報道センター総合ディスク）の意見

- ・それぞれの委員会の内容を聞いて、垣根を越えて研鑽を積まれていることに感銘を受けた。また、良い活動がなされていると改めて思った。
- ・昨年「ほすびたる」が面白いと言ったところ医療事務職の集まりに誘われ、意見交換を行った。いろいろな組織から忌憚のない意見が出て、いい雰囲気であった。「ほすびたる」はますます面白くなっている。最近エッセイも増えてきて楽しく読んでいる。
- ・化血研のことが繰り返し報じられているが、非常に残念に思っている。病院研修会の報告で医療事故調査制度があったが、新聞としても期待をしている。

司法での解決もあるが、司法の現場では本当のことがお互いに分からないところもある。真摯な対応によって患者の信頼を増す、医療の信頼を増々得ることに繋がる大きな一歩であると期待している。

以上を受けて、①安藤総務理事の意見

- ・病院協会は歴史もあり実績もある。病院における森羅万象を常に考え解決していくプラットフォームを築いてきたつもりであるが、何か足りないものがあるのではないかと考えていた。中西参与から会計についての研修が無いという話があり、今後の参考にさせて頂きたい。
- ・また、壁村理事から臨床検査委員会について名称と実態が一致しているような、ないよう

な分かり辛いという話があった。そこは検査技師の方が面倒を見ているが、病院における技術系のことが含まれ、放射線技師やSEなどが抜けているのではないかと感じた。病院協会の事業で足りないものがあればご指摘いただきたい。

②壁村理事の意見

・病院の中で薬剤師の働きはどうあるべきかということも大きな問題であるので、病院協会として検討して頂きたい。

さらに会長から、研修会の内容や名称について持ち帰ってブラッシュアップしていきたいとの発言があった。

最後に上野専務理事からまとめとして、出席者に対して謝辞を述べられるとともに、懇談会を始めた経緯等についての簡単な説明と来年も辛口の見解をお願いされて懇談会は無事終了した。

## 会員名簿変更のお知らせ

◎福岡県病院協会事務局

会員名簿 ページ	施設名称	項目	変更内容
3	国立病院機構 福岡病院	診療科目	循環器内科（追加）
4	福岡歯科大学医科歯科総合病院	診療科目	皮膚科（追加）、神経小児科（科名変更）
4	国家公務員共済組合連合会 千早病院	診療科目	泌尿器科（削除）、リウマチ科（追加）
6	今津赤十字病院	病床数 (うち介護分)	22
7	福岡大学病院	管理者	井上 亨
8	福岡大学筑紫病院	診療科目	消化器外科（追加）
8	北九州古賀病院	管理者	中村 純
9	一般財団法人西日本産業衛生会 若杉病院	診療科目	リウマチ科（追加）
9	医療法人社団緑風会 水戸病院	管理者	田中 謙太郎
		開設者	理事長 水戸正樹（会員）
10	福岡県立粕屋新光園	病床数	50
11	地方独立行政法人 芦屋中央病院	開設年月日	平 27.4.1（法人化）
11	医療法人社団親和会 共立病院	管理者	寺井 弘
12	飯塚市立病院	診療科目	乳腺外科（削除）、呼吸器外科（削除）
14	久留米大学医療センター	管理者	廣松 雄治
		診療科目	内分泌科（削除）、内分泌代謝内科（追加）
15	社会医療法人天神会 古賀病院 21	診療科目	皮膚科（追加）、脳神経外科{脳卒中}（追加）
15	医療法人松風海 内藤病院	管理者	内藤 雅康
		開設者	理事長 内藤壽則（会員）
17	菅原病院	所在地	大牟田市小川町 30 - 1
		診療科目	小児科（削除）
18	社会保険大牟田天領病院	病床数	339
18	新田原聖母病院	管理者	緒方 賢一
18	医療法人社団祥和会 大川病院	管理者	大川 順司
		開設者	理事長 大川敏彦（会員）
18	JR 九州病院	病床数	一般 158、療養 96
20	南ヶ丘病院	診療科目	神経科（削除）、心療内科（追加）
22	地域医療機能推進機構 九州病院	診療科目	削除：血管内科、糖尿病内科、救急外科、救急内科
			追加：血液内科、救急科

(平成 28 年 1 月現在)

久留米大学医療センター 病院長 廣松 雄治  
 内分泌代謝内科 教授



## 新年明けまして おめでとうございます。

2015年4月1日より、樋口富士男前院長の後任として久留米大学医療センターの病院長に就任致しました。私は1978年に久留米大学を卒業し、同第1内科へ入局。大学院医学研究科、カナダMcGill大学留学を経て、1987年新設された久留米大学医学部内分泌代謝内科へ異動となりました。2007年同教授に就任し、主に甲状腺学、内分泌学、糖尿病学の診療・研究、若い医局員や学生の教育に従事してまいりました。

久留米大学医療センターは、1994年旧国立久留米病院を引き継いで誕生し、地域の中核病院として発展してまいりました。2007年に新病院に建て替わり、高良山下の緑豊かな広い敷地に、煉瓦色の整然とした建物群は、医療福祉建築賞2010を受賞いたしました。

当医療センターは、大学病院との機能分化により、2015年4月1日より①主に一般急性期医療 ②回復期リハビリテーション ③慢性疾患の診療 ④特定の疾患の手術を担う病院となり、職員一同、一丸となって取り組んでいます。11月には、地域包括ケア病棟を開設し、地域や社会のニーズにあった診療の提供に努めています。

医療センターでは、「心が通い、信頼される医療」を理念に患者さん中心の医療を実践しています。現在、当院には、7つのセンター（整形外科・関節外科センター、リウマチ・膠原病センター、がんワクチンセンター、先進漢方治療センター、物忘れセンター、リハビリテーションセンター、画像センター）と20の診療科、病児保育の施設などがあり、医師をはじめ、多

くの職種の約470名の職員が「チーム医療センター」として診療・研究・教育に当たっています。

整形外科・関節外科センターでは、これまでの診療に加え、スポーツ外傷から上肢・下肢の関節疾患の診療を幅広く行っています。先進漢方治療センターでは漢方を中心とした診療（漢方精神科、漢方小児科、漢方内科、漢方皮膚科、漢方内分泌、漢方婦人科、漢方泌尿器科、女性外来など）を、小児から高齢者まで幅広く行っています。がんワクチンセンターでは、高度な先進治療である「がんワクチン療法」を行っています。海外からも多数の患者さんが来院されています。循環器科では、カテーテル治療から心臓リハビリテーションまで包括的な循環器疾患の治療と予防医学に取り組んでいます。内分泌代謝内科では甲状腺疾患、内分泌疾患、糖尿病の診療を行っています。形成外科では足病変（フットケア）・皮膚潰瘍治療外来を開設し、より細かなニーズに答えています。今後、新専門医制度の発足に併せて、総合診療科の開設を予定しています。その他の診療科も診療のなご一層の充実を計り、地域の中核病院としての役割を果たせるように努めています。また当院では大学病院の名誉教授、教授、准教授、講師をはじめ、熟練した医師の外来診療も受けることができます。初期研修医、後期研修医とも大学病院と相互に研修を選択できるようにしています。

今年も皆様の温かいご指導、ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



# 卒後2年目看護師へのメンタルサポート研修を行なって

国立病院機構福岡東医療センター  
教育担当師長 井上 範子

国立病院機構は、全国に143の病院をもつ特定行政法人として運営されています。この143すべての病院において、おおむね卒後5年目までに到達して欲しい目標が設定され統一的・標準的な教育研修が行えるような学習指針である「看護職員能力開発プログラム」を導入しています。

福岡東医療センターでは、この「看護師能力開発プログラム」を基本に当院の特色を盛り込んで、新人から卒後5年目までの研修コース、更には中堅ナースを対象としたキャリアコースを展開しています。

当院は、ここ数年7対1施設基準の取得や救急救命センター、感染症センターの開設に伴い、看護職員が大幅に増員され、臨床は若い看護師が大半となってきました。「新人看護師をひとりにしない」をモットーに、各看護単位で看護体制の検討や新人支援体制の強化、集合教育でもリフレクションなどを取り入れ、メンタルサポートにも力を入れてきました。併せて、職業性簡易ストレス調査を実施し、新人看護師のストレス状況を把握するとともに、部署ごとの支援状況をモニタリングしてきました。結果、新人看護師のストレス状況は全国平均を下回り、離職率も平均を下回るという嬉しい結果を得る事ができました。

しかし、2年目になると先輩看護師たちの目は新人看護師に向いてしまい、2年目看護師のインシデントレポートの報告が多くなったり、2年目以降の離職率はなかなか下がらないというのが悩みでもありました。そこで、今年度は福岡県の補助事業を受け、卒後2年目看護師に対するメンタルサポートとともに組織人としての自覚を培ってもらうことを目的に院外研修を行いましたので、今回はその取り組みをご紹介します。

今年度の2年目研修には71名が参加しています。この71名に対し、10月27日28日の2日間、研修生を2グループに分け、宗像市にあるグローバルアリーナ宗像でメンタルヘルス研修を行いました。

ゆとり世代の特徴として、チームワークが苦手、個を尊重しすぎて衝突や摩擦を避けようとする、メンタルが弱く“できない”というイメージを持ってしまう、責任感がなく自由をはき違えている、コミュニケーションが苦手に対応力がないなどと言われています。そこで、コミュニケーション能力と責任感を持つということを強化したいと思いました。

この研修は、研修生参画型研修と称し、研修生の集合・点呼や研修会場の準備、昼食時の会計など、研修に付随するいくつかの仕事を研修生に担ってもらうという初の試みを取り入れました。違う所属病棟の研修生78名を1つのグループにし、リーダーとサブリーダーを教育委員から指名し、研修生全員に何らかの役割を担ってもらいました。進め方としては、係りの仕事内容についてのみ明示し、具体的な段取りはすべて研修生に任せました。困っているときは、いつでも相談にのることを伝え、期日までに具体的な進め方などを紙面で報告させました。短い期間でしたが、集合時にはグループ毎に集まれるようボードを作成し、時間前には集合を確認し、点呼まで済ませて報告するなど、それぞれの仕事ぶりは、私たちの予想を超えるものでした。

研修場所へは、マイクロバスで移動し、リフレッシュということでヨガを行いました。ヨガは初めてという研修生が多く、翌日腰が痛くなったという研修生もいましたが、先生よりヨガの呼吸法や正しい姿勢、ストレッチなど丁寧に教えても

らい、「工作中でも役立つ事ができそう」とか「リラックスする方法を学んだ。」など概ねよい評価でした。



写真1 ヨガの場面

昼食は、バイキングでグループ毎に食べてもらいました。始めて話す同期の研修生もいたり、午後のグループワークに向け、よいアイスブレイクの代わりとなったようでした。また、昼食の時間でさらにお互いをよく知ってもらいたいと思い、自己紹介も含めた病棟紹介を行ってもらいました。手術室の研修生は、ガウン介助を実演したり、写真を巧みに提示しながらの病棟紹介など、バラエティに富んだものでした。

午後からは、医学書院から出版された自己啓発ゲームの中で紹介されている、コンセンサスゲーム「職場への想い」についてグループワークをしてもらいました。これは、自分の職場に対して、清潔感、国際性など8項目に1位から8位まで順位付けを行い、その後グループ全体でメンバー総意のもとその8項目に再度順位付けを行うゲームです。この中で、なかなかコミュニケーションが苦手な研修生たちに、自分の意見をきちんと伝える大切さや大変さ、自分の想いを言葉にする努力、他者の意見に耳を傾ける大事さ、そして2年目看護師でも自部署のことに目を向けるということを学んでほしいと思い、このゲームを選びました。研修生からは、「色々な意見を出しあって発言することで、自分の本当の考えに気づくこともあるのだと感じた。」「正解のない討論は、納得して意見が変わることもあれば、譲れず最後まで結

論が出ず、面白みやジレンマを感じた。」など、研修担当者の意図を感じ取ってくれた研修生も多かったようでした。討議の結果は、1位に親しみやすさ、2位に明るさ、3位に安定性を挙げたグループがほとんどでした。



写真2 グループワークの場面

今年は少し遅い秋の訪れで、施設内は丁度紅葉が赤くなり始めた時期での研修となりました。1日目は、あいにく小雨が降る中の研修となりましたが、2日目は晴天で、山々に囲まれた施設は、冷氣すら心地よいと感じる自然に恵まれた場所で、しばしの間気分転換を図れた研修生も多かったようでした。

研修生からは、「もっと体を動かしたかった。」とか「グループワークはよく分からなかった。」など厳しい反応もありましたが、今後も看護師一人一人が職場で生き生きと働いていけるような支援を、教育の立場から行っていきたいと思っています。



写真3 研修生集合写真

# 各種委員会の紹介

No. 5

## リハビリテーションの抱える諸問題と委員会活動

リハビリテーション委員会 委員長 浜村 明徳  
医療法人共和会小倉リハビリテーション病院 名誉院長

当委員会は、平成24年に発足、4年目を迎えている。現在、担当理事：津留英智（宗像水光会総合病院）、小柳左門（原土井病院）、委員長：浜村明徳（小倉リハビリテーション病院）、副委員長：永友 靖（夫婦石病院）、委員：岡田 靖（九州医療センター）、中根 博（福岡東医療センター）、大田登志樹（宗像水光会総合病院）、佐藤文保（福岡東医療センター）、浦川雅広（麻生飯塚病院）、岡崎ひろみ（小倉リハビリテーション病院）、吉武さとみ（聖マリア病院）の委員構成で運営されている。医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、ソーシャルワーカーの多職種が参加する委員会である。

これまで、年2回の委員会と年2回の研修会を実施してきた。

リハビリテーション（以下、リハ）にかかわる各専門職団体においても種々の研修会が実施されている。このような状況を鑑み、委員会では「県病院協会が実施する研修会としての特徴」を出すことを意識している。また、参加する職種に偏りが起こらないようテーマ等の工夫をしているが、とくに医師の参加が少ない現状にある。医師のかかわりのないリハはありえないことから、引き続き対応を探ってゆきたい。

病院におけるリハは、医療保険中心に介護保険にもまたがり、急性期・回復期・生活期とステージによっても目標・役割などが異なる。したがって、抱える課題も多岐に及ぶ。また、かかわる職種も多く、リハが他の分野に先駆けて

実施してきた「多職種協働、チームアプローチ」も解決には至っていない。また、各ステージ間の連携・医療と介護の連携など「連携にまつわる課題」もあり様の明示が期待されるテーマの一つである。ここ数年は、「地域包括ケアを支えるリハのあり方」も大きな課題となってきた。臨床的には、「摂食嚥下リハ、ますます増加する認知症を抱えた患者・利用者へのリハ」などが重要なテーマである。加えて、「診療報酬改定への対応」は、病院のリハ運営として欠かせない課題となる。

これらの諸課題と委員会活動の方向性について、簡単に述べる。

### 1. 多職種協働、チームアプローチ

チーム医療のあり方は多くの領域で課題となっているが、多職種がかかわるリハにおいては、回復期リハ誕生以来、大きなテーマとして取り組まれてきた。

リハの現場では、医師を含めて、よりフラットな関係で活動が行われ、カンファレンスやミーティングが多いのもリハの特徴となっている。しかし、多職種協働を頭の中では理解できても、それぞれの職種における理念や医学モデルを基盤とするリハ教育と臨床など様々な要因が関係し、目標とするチームアプローチには到達できていない現状にある。

サービスの質の向上には、まずかかわる専門職個人の力量の向上が重要である。同時にチームとしてのあり方が強く影響する。そのため、

病院によっては看護とリハを組織として統合した病棟なども誕生している。

また、医療と介護がステージを越えて連携する時代に入り、所属や職種の異なるものがチームを形成し継続して支援する体制も求められるようになってきた。しかし、まずは、病院内のチームが有効に機能していなければ、その課題の解決は程遠い。容易に解決できる課題ではないが、あり様を探し続けてゆきたい。

## 2. 各種の連携課題

各種連携の課題としては、ステージ間の連携、医療と介護の連携を中心に、多様な連携が求められる状況にある。

大きくは、① 医療提供機関間の連携（連携パス等）、② 医療機関等と在宅サービスとの連携（医療と介護の連携）、③ 地域包括ケア提供サービス間の連携などの課題がある。

また、多様な職種の機能統合には、① 顔の見える関係づくり、② 課題・認識の共有や目標設定、③ ツールの作成等を通して、統合的なケアの提供に必要な仕組みを構築すること<sup>1)</sup>が期待されている（地域包括ケア研究会、地域包括ケアシステムを構築するための制度論等に関する調査研究事業）。

連携問題は、これまでも研修会で取り上げてきたが、次のステージから求められる情報が適切に提供できているか、介護に求められる医療情報の内容は妥当か、またその具体的な連携方法など、引き続き研修会のテーマとしてゆきたい。

## 3. 地域包括ケアを支えるリハのあり方

かつて、「リハ＝機能訓練」であった。現在でも、そのように思われていることが多い。

平成16年に実施された厚労省の高齢者リハ研究会で、適切な理解を得るためリハ専門職や市民の代表も交えた議論が行われた。その報告書では、「リハは、単なる機能回復訓練ではなく、心身に障害を持つ人々の全人間的復権を理念として、潜在する能力を最大限に発揮させ、日常生活の活動を高め、家庭や社会への参加を可能にし、その自立を促すものである。」<sup>2)</sup>と定義している。

H26年度、「高齢者の地域におけるリハの新たな在り方検討会」が設置され、前述の報告書が改めて検討された。

リハのあり方としては、平成16年度の報告書を踏襲し、「これからの高齢者のリハでは、日常生活の活動を高め、家庭や社会への参加を促し、それによって一人ひとりの生きがいや自己実現のための取組を支援して、QOLの向上を目指すことに一層の注意が払われるべき」<sup>3)</sup>としている。

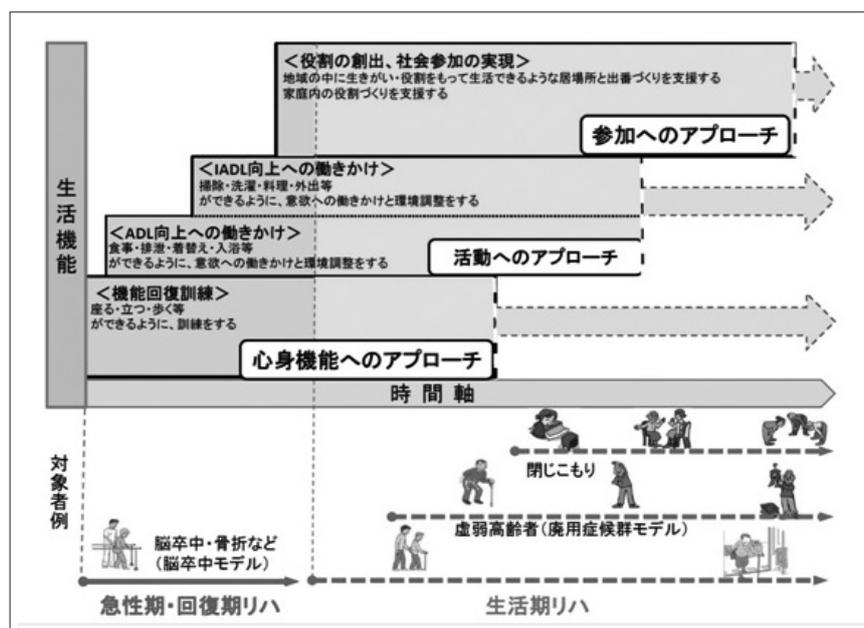


図1 生活機能とその構成要素<sup>3)</sup>

つまり、図1から分かるように、病院リハの中心である急性期・回復期のリハにおいては、ICF(国際生活機能分類)を活用し、心身機能・活動・参加に総合的な働きかけをすべきである。現状は、心身機能の改善に終始した支援が多く、来るべき在宅生活、くらし方への準備が不十分で、例えば、「歩ければよし」とするような支援に留まっているように思われる。生活機能を最高に引き上げ、住み慣れた地域で、その人の望む生活ができるよう支援し、次のステージにバトンタッチしてゆきたい。今後ともそのあり様を研修して行く予定である。

#### 4. 臨床的な課題

リハの対象疾患は数多く、これらに関するリハ研修は専門職独自の研修会で企画されることが多い。したがって、当協会における研修会では、多職種がかかわって対応しなければならない摂食嚥下リハやますます増加する認知症を抱えた患者・利用者へのリハなどをテーマに、企画してゆきたいと考えている。

#### 5. 診療報酬改定への対応

次年度の改定に際し、医療機関が求める情報の提供を、改定に何らかの関係がある講師により紹介するようにしている。また、改定への具体的な対応のあり方を、経験豊富な専門職から紹介していただくようシンポジウムを企画することが常になってきた。

最新情報の提供と真摯な対応例の紹介は、関係機関の支持を得られつつあると思われ、参加者も多くなっている。改定前夜には、このような企画を継続する予定である。

#### 6. おわりに

リハ委員会は発足4年目であるが、毎回参加者が300名を越えるようになり、県病院協会の研修会に対する関係者の認知が定着しつつあると思われる。

年2回の研修会で成果は得にくいのが、少なくとも課題を共有し、そのあり方を議論することによって、リハサービスの質が向上するきっかけとなることを願っている。

医学モデルを基盤にしたリハでは、地域包括ケア時代のリハとしては不十分であることも明確になってきた。地域でその人らしく暮らせるよう、急性期・回復期でどのような支援を行うか、そして長きに及ぶ生活期を地域のチームを組んで支えきれるか、大きな課題の解決に向け活動を続けてゆきたい。

#### 〈引用文献〉

- 1) 地域包括ケア研究会：「地域包括ケアシステムを構築するための制度論等に関する調査研究事業」，三菱UFJリサーチ&コンサルティング，2014
- 2) 高齢者リハビリテーション研究会：「高齢者リハビリテーションのあるべき方向」，2004
- 3) 高齢者の地域におけるリハビリテーションの新たな在り方検討会：「高齢者の地域における新たなリハビリテーションの在り方検討会報告書」，2015

## サル、猿、申、そして猿人

国立病院機構 九州医療センター 名誉院長 朔 元 則  
学校法人原学園 原看護専門学校 学 校 長

### サル

ここ数年、1月号のLetterではその年の干支に因んだ話題を取り上げてきたので、今年最初のLetterも猿についての話から始めさせていただくことにする。

サルが動物学的にはヒトと同じく、哺乳綱、霊長目に分類される動物であることは衆知のことであるが、ヒトが目に降はヒト科、ヒト属、ヒト種と極めて単純であるのに対しサルはかなり複雑である。

サルの分類についてはまだ諸説があるようであるが、曲鼻猿亜目や直鼻猿亜目という亜目、原猿科、真猿科という科の違い、更にゴリラ属、チンパンジー属というような属の違いも数多く、種に至っては一体どれだけの数があるのか私にはよく判らない。

日本列島に生息しているのはオナガザル科マカク属に分類されるニホンザル（学名は *Macaca fuscata*）だけであり、ヨーロッパの国々にも自然に生息しているサルの種類は少ない（殆んどいない？）ということである。

### 猿、モンキー

日本人はサル科の動物を、十把ひとからげに猿、モンキーという言葉で表現してしまう傾向にあるが、外国では少し違うようである。

英語圏の国では、私達が通常使用している monkey という単語は尻尾があるサルを表現する言葉であり、大型類人猿のゴリラ、オランウータン、チンパンジー等を総称する場合は monkey ではなく ape という単語が使用されている。その他にも小型のキツネザルの仲間は lemur と表現されるし、gibbon（テナガザル類）、baboon（ヒ

ヒ類）などの単語もあってとてもややこしい。

中国では漢の時代頃から猩、猴、猿、狒、狻などの漢字でサル科の動物を表現していたが、猿がそのうちに同じ音である猿に変わり、現在ではオランウータンやゴリラ、チンパンジーなどの類人猿類を猩、テナガザルなどの長臂類を猿、ヒヒ類を狒、マーモセット類を狻で示し、類人猿ではないサル科一般（英語の monkey に相当）を猿という字で表現しているようである。日本と比べると猿を表現する言葉は英語も中国語も大変複雑である。

日本でも能や歌舞伎などの古典芸能の世界では猩や狒という漢字もまだ広く使用されているように思うが、一般的にはこれらの漢語はすでに死語になってしまった。しかしサルは猿、monkey で一括りにして、あとはゴリラ、チンパンジーというようにカタカナ語を使用して属も種もごちゃまぜに表現している日本方式が案外一番簡単で便利であるのかも知れない。

猿知恵、猿真似、猿芸居。礼儀知らずの田舎者という意味でつかわれる山猿（木曾義仲を都人は木曾の山猿と呼んでいたことは日本史上有名である）という言葉に象徴されるように、古来日本では猿に対するイメージはあまり良くないようである。これはひとえにニホンザルからのイメージに由来するものであろうと私は考えている。

日本で文献上最初に出てくる猿という名の人物は、古事記の記述にある猿田彦であろう。猿田彦は豊葦原中津国（即ち日本列島）に降り立った天照大神の孫のニニギノミコトの道案内役を務めたことで有名である。しかしよく考えてみると古事記という書物は、天皇家の先祖が高天原から降臨した神様であるということを国民に周知するために作成された物語であるから、道案内役の土地の

豪族の名前には、あえて「猿」という蔑称を付与したと考えるのは考え過ぎであろうか…。豊臣秀吉の仇名が猿であったことも有名である。これはその面構えが猿に似ていたことがもちろん第一の理由とは思いますが、生れ素性が卑しいという意味も含まれているのではないかと私は考えている。

太平洋戦争当時、アメリカが反日キャンペーンの中で、日本人を yellow monkey と呼んでいたこともよく知られている。洋の東西を問わず、動物としての猿の持つイメージはあまり良くないというのが共通点であると言えよう。

## 申

現代日本では十二支を動物名で表現するのが一般的であるが、これは本来は何の意味も持っていない。正式には今年が丙申（ひのえさる）の年なのである。

白川静博士の常用字解によれば、申という字は稲妻を示す象形文字なのだそう。左右に屈折する雷光を縦に横に並べると申という字になるということである。稲妻は天にある神がその威光を示す形である。ギリシャ神話の最高神ゼウスのアトリビュート（attribute、その人物を象徴する持ち物。ほかにアポロンの提琴、ヘルメスのカドゥケウスと呼ばれる2本の蛇が巻き付いた杖などが有名である）も稲妻であるから、この点はサルと同様稲妻のイメージも洋の東西で一致しているのが面白い。

稲妻は屈折しながら斜めに走るの、これが申（のびる）という字につながっていくのだそう。申年の今年が稲妻の如く、迅く力強く成長（伸展）する年であって欲しいものである。

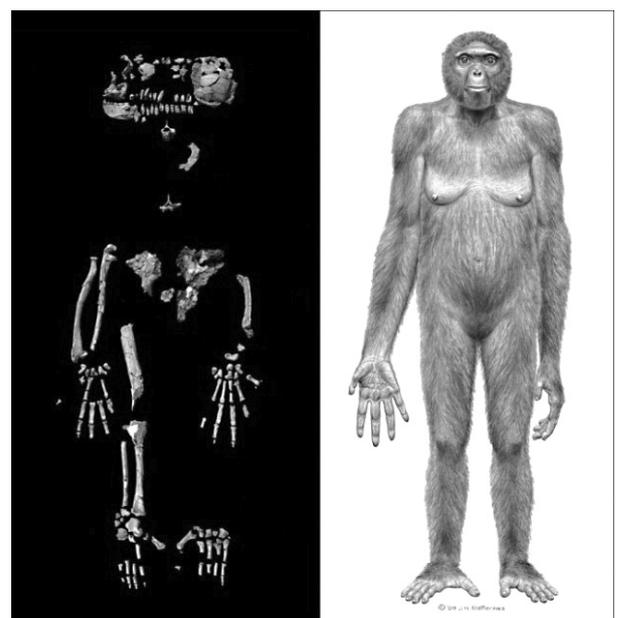
## ルーシーに会いに行こう

昨年12月12日、東京出張の折にやっと念願のルーシーに会う機会を得ることが出来た。ルーシーといっても外国人の女性の話ではない。正式な名前（学名）をアウストラロピテクス・アファレンシス（*Australopithecus afarensis* アファール地区の南のサルという意味）という猿人である。1974年、シカゴ大学の Donald Johanson がエチオピアの東北部に広がるアファール盆地での

発掘調査で発見した。発見した11月24日の夜、ベースキャンプで祝賀パーティを開いていた時、持参していたカセットラジオから流れていたのがビートルズの Lucy in the sky with diamonds という曲であったので、この猿人化石にはルーシーと名が付けられたのである。人類考古学の世界では有名なエピソードなのだそう。

アファール猿人は直立二足歩行が出来るようになった最古の人類（約320万年前の猿人）と推定されていて、その踵骨は大きく海綿質で、長時間固い地面を歩くことにも耐えられるようになっており、骨盤の形状もヒトと同じように横に拡がりドンブリ状になっている。詳細は国立科学博物館の馬場悠男博士の著書「私たちはどこから来たのか～人類700万年史。NHK出版2015年刊」に詳しい。

ルーシーは国立科学博物館の地球館にその骨格標本とともに生体復元モデルが展示してある。ルーシーの隣にはトゥルカナ・ボーイ（アファール猿人より新しい約160万年前の原人、ホモ・エレクトス）の復元像も展示してあり、猿人と原人が比較出来るととても興味深い。国立科学博物館は65歳以上は入場料不要なので、さる年の今年の東京出張の折には、是非上野まで足を延（伸）ばして、人類の祖先に思いを馳せていただきたいものである。



1974年に発見された約320万年前の化石人骨（左）と復元模型（国立科学博物館に展示）

## 風見鶏が消えた

元 医療法人 誠十字病院 安田 宏一  
 平衡神経科 医師

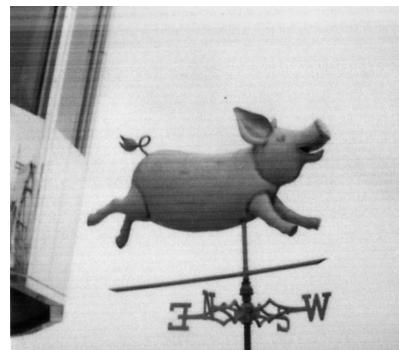
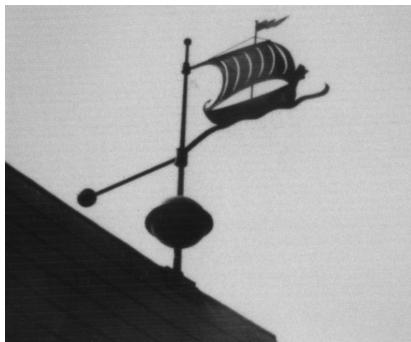
この頃街中で、風見鶏を見かけなくなった。金属の板を、雄鶏の形に切り抜く。脚の部分を棒状にして、筒に挿す。これを屋外に出すと、しっぽの部分に風があたり、くるりと廻って、頭が風の吹く方へ向くしかけである。屋根の飾りとして好まれた。ただ屋根が三角形にとがっていないと、さまにならない。建物がビルに変わり、屋根がたいらになって、風見鶏を見かけなくなった。

1980年代、風見鶏を見つけては、写真に撮っていた。この時期には、けっこう見かけたものである。レストランの入口のひさしや、母屋の塔の上などに、飾られていた。弘前市で、木造の時計塔の上にある風見鶏を見た。鶏の形が、三日月のように単純化された素朴なものだったが、味があった。この時計塔は、石坂洋次郎の小説「青い山脈」

に描かれている。

風見鶏のこったものは、透かし模様になっていた。あれで、風が受け止められるのだろうか。風見鶏のモチーフにもいろいろあり、鶴が二羽並んで飛んでいるもの、ライオン・魚・豚まであった。帆船も、ヴァイキングの船、大航海時代の船など楽しく見た。

街中では見かけなくなった風見鶏だが、意外なところで、今も見ることができる。それは、福岡市天神の地下街である。地下鉄天神駅の中央改札口を出て、左へまがる。そこに喫茶店がある。地上へあがる階段の下である。その天井の薄暗いところに、寂しそうな風見鶏がいる。一度は風に吹かれてみたい、という顔をしている。



さまざまな風見鶏

# 人体旅行記

## 足

国立病院機構九州医療センター 吉住 秀之  
医療情報管理センター 部長

人体を領土に見立ててみましょう。頭が首都とすると足は最も遠い辺境です。辺境の地は文明化されることも遅れます。地面という異物に接触する部位でありながら、足は長らく露出されたままでした。ごく最近までというところ驚かれるかもしれませんが、靴とのつきあいが浅い日本<sup>1</sup>では、庶民の多くは裸足で外を歩いていた。1901（明治34）年ベスト予防のため、東京市内<sup>2</sup>では裸足で外出することを禁止する跣足厳禁庁令が出されていることから、当時は裸足が一般的であったことがうかがえます。さらに最近でも東京オリンピックの頃までは大半の小学校で児童は裸足で駆け回っていました。裸足のアベベはオリンピックでは人目を引きましたが、当時裸足で走ることは決して奇異なことではありませんでした。その後の経済成長とともに靴は急速に普及していきます。一見すると靴で足を手厚く保護しているように見えますが、その気遣いは足からすれば決して心地よいものではないことは、靴擦れや外反母趾、扁平足、足底筋膜炎、足白癬<sup>3</sup>といった病気が革靴を履くことによって生まれたことから分かるでしょう。

足への無頓着ぶりといえ、アメリカでも南北戦争の頃まで販売されている靴には右左の区別はありませんでした。1822年にアメリカで左右の区別のある靴が発売されましたが、売れなかったといいます。1882（明治15）年の新聞には、乃木希典が「多年工夫を凝らして此頃漸く発明されたる一種の靴は、左右の別なく之を穿ちて極めて快適を覚え、すでに二三の士官は親ら之を試みられ従来之靴に対してはるかに便利なることを証さ

れしかば、来月より同大佐の部下即ち東京鎮台歩兵第一連隊へは一般にこれを用ゐしめらるることに決定されたり」と報道されています。乃木が、暗闇でもすぐ靴が履けるように左右同じ靴を履くのだと部下に言ったところ、靴の左右を間違えるほどうろたえることがあるのですかと逆に突っ込まれたことがあったとかなかったとか……ちょうど靴に左右があることが当たり前になってきた頃の話だったのででしょうか。因みに1886（明治19）年に明治政府は左右同じ軍靴を納入しましたが、靴擦れが頻発して中止に至ったそうです。

人間が二本足で大地とコミュニケーションをとりながら進化してきた長い道程の中で、靴を履くという習慣はごくごく最近になって起きたことであり、まだ人類はそれにうまく適応できていないようです<sup>4</sup>。

\*1 もちろん古代の人々も履き物は使っていたことは万葉集からも分かりますし、貴人は漆塗りの木沓を履いていましたが、それは特定の階級でした。革靴を日本で初めて履いたのは坂本龍馬だそうですが、軍靴として本格的に導入されたのは明治になってからで、兵士が揃って軍靴を履いたのは明治三年の練兵天覧の時です。

\*2 当時東京はまだ市でした。

\*3 身につけるものでこれほど洗濯しないものは他にないでしょう。

\*4 この点については最近出版された『人体600万年史』（ダニエル・E・リーバーマン著、早川書房）に詳述されています。



一番大切な思いやり…  
**「安心・安全・清潔」**

**TAIYO** 太陽セランドグループ

太陽セランドホールディングス株式会社  
 〒812-0044 福岡市博多区千代 1-1-5  
 TEL 092-641-2578 FAX 092-641-5778

太陽セランド株式会社  
 〒826-0042 福岡県田川市大字川宮 1200  
 TEL 0947-44-1847 FAX 0947-44-5805

代表取締役 社長 **中島 健介**

太陽セランドグループ会社

┃ 太陽セランドホールディングス株式会社	┃ 太陽セランド株式会社	┃ 太陽インダストリー株式会社	┃ 太陽シルバークサービス株式会社
┃ 太陽ホテルリネン株式会社	┃ ジャパンエアマット株式会社	┃ 株式会社北九州シーアイシー研究所	┃ 株式会社メディカルナビゲーション
┃ 株式会社セランド	┃ 株式会社サンウエックス	┃ 株式会社おたふく屋	

医療関連  
 サービスマーク認定

お問い合わせ TEL 0947-44-1847    Mail [info@taiyoseland.co.jp](mailto:info@taiyoseland.co.jp)    Web <http://www.taiyoseland.co.jp>

おもいやりの心でサポートします

---

県内精神科病院の寝具及び下着類の洗濯・貸与・販売・補修業務一切  
 他にグループ保険・病院賠償責任保険等の各種保険

**福岡県精神科病院協同組合**

理事長 **富松 愈**

〒810-0005 福岡市中央区清川三丁目14番20号 2F  
 TEL092-521-0690/FAX092-524-4632

九州一円の医療機関経営をサポートする  
 福岡県精神科病院協同組合100%出資会社

**有限会社 DMS** (ドリーム・メディカル・サービス)

〒810-0005 福岡市中央区清川三丁目14番20号 3F  
 TEL092-525-7666・7667/FAX092-525-7668



## 『私的音楽事情』

医療法人 和光会  
一本松すずかけ病院  
作業療法士

安部 尊大

私は小さい頃から音楽が大好きで、「音楽を聞く事」は毎日の生活の中での日課となっている。音楽の中で主に「歌を歌う事」「ギターを弾く事」をこれまで趣味・特技として続けてきた。現在は、人前で披露する機会や一緒にプレーする仲間にも恵まれ、現在精神科病院で作業療法士をやりながら、福岡市のライブハウスでレギュラー出演している。音楽というものは一人でも楽しむ事もできるが、一人で行うよりも仲間が居たほうがより楽しめる。言葉がなくても、音とリズムがあるだけで人と人を繋ぐことができるコミュニケーションツールとなり、他者と簡単に意気投合できる。私にとっても、音楽とは自己効力感を高める事ができる作業であり、人と繋がっていくために生活の中で欠くことのできない活動となっている。更には本職である作業療法士としての武器にもなり、私は音楽という作業を“究極の作業”と位置付けている。

しかし、音楽を好む人は多いが、音楽は食べ物と同じようなもので多種多様であり、人によっての感覚が全く異なる。家族でも、気の合う仲間でも好みは相反する事が多い。当たり前的事ではあるが、2年前から人前で演奏する機会が増え、音楽の世界に少し通じるようになってから特に感覚の違いを実感し、憤りを覚えることもある。

というのも、私は親の影響で幼少期の頃からビートルズを聞かされ育っている。物心ついたときには既にビートルズの楽曲は全て頭の中に叩き込まれ、英語はわからないが(笑)口ずさめる程になっていた。学生の頃はビートルズが基本にありながらも、周りからの評価を気にしていたのか？ 流行の音楽を聞き、バンドでも流行の歌に取り組んだが達成感はありません、何か物足りなさを感じていた。そして、現在はやっぱり最終的にビートルズのような音楽をやりたいという思いが強く、現在のバンドは

ビートルズやカーペンターズの楽曲を中心に取り組んでいる。

ビートルズをリアルタイムで体感したわけでもないし、ビートルズを古いと感じる方も居ると思うが、ビートルズがデビューしてから半世紀経った今でもビートルズの楽曲はいつ聴いても新鮮で飽きがない。テレビのCMやラジオ、お店のBGMとしても使われ聞かない日はない。どんなジャンルの音楽が好きか？ とよく聞かれるが、私はいつもビートルズと答える。ビートルズの音楽にジャンルはなく、しいて言うならバラードからロックから…パンク系の楽曲まで240曲近くあり、ほとんどの曲に新しい試みや工夫が凝らされた魅力のある作品ばかりに仕上がっている。ややマニアックな話題になってしまったが、まさに音楽=自由を追求しており、「ビートルズ」という1つの音楽ジャンルを確立したのではないかと勝手に考えている。そんな音楽のいろは、楽しみ方をビートルズは教えてくれる。

しかし、最近の音楽事情とは言えば…。メディアに取り上げられた楽曲=人気のある音楽？ 良い音楽？ ウケる音楽？ まさに、一発屋芸人・パチンコの新台入替のようにとにかく新しいものに一旦集中して即座に離れるといった傾向が強いように感じる。心を動かされる楽曲は極一部であり、最近の楽曲にはその楽曲の良い理由が見当たらない。ビートルズの楽曲には、コーラス、歌唱力、メロディ、ベースライン、アレンジ力など…良い根拠が詰まっている。

このように、やや身勝手な価値観と信念だけを頼りに現在もバンド活動を続けている。ビートルズを聴きに来るお客様と言えばやはり年齢層は高めで団塊の世代と呼ばれる方たちが中心となっているが、最近では20代、30代のお客様も増えてきている。そのお客様の中には、「生音良いですね。」「感動しました。」「また聴きに来ます。」などと新鮮な感覚をもってくれる人も居る。

“エレキが鳴っていれば人が集まる”という時代は終わり、刻々と日本のライブハウス業界は低迷していつている。しかし、良い楽曲というものは10年後も20年後も歌い継がれていくはずである。(サザンやミスチルやドリカムが良い例だと思う)これからは、その古き良き時代のサウンドをそのサウンドに近い状態のまま、後世に伝えていくことが自分の役割だと思っている。更には、自分の信念を貫き通し、古き良き時代の音楽に似た新しいサウンドを切り開いていきたい。

## ●福岡県私設病院協会・福岡県医療法人協会プラザ

## 平成 27 年 12 月福岡県私設病院協会の動き

## ◎看護部長会運営委員会

日 時 12月4日（金）午後3時～  
場 所 協会会議室  
議 題

## 1. 協議事項

- (1) ワーク・ライフ・バランスについて
- (2) 情報交換について
- (3) その他

## 2. 報告事項

- (1) 前回議事録について
- (2) 私設病院協会研修会について
- (3) 私設病院協会10～11月の動き

## ◎広報委員会

日 時 12月8日（火）午後3時45分～  
場 所 協会事務室  
議 題

1. 福私病ニュースの編集について
2. その他

## ◎理事会

日 時 12月8日（火）午後4時～  
場 所 協会会議室  
議 題

## 1. 会長あいさつ

## 2. 協議事項

- (1) 会員異動について
- (2) 研修会について
- (3) 地域医療構想策定について
  - ① 第1回「福岡県地域医療構想調整会議」開催状況について
  - ② 平成27年度第2回福岡県医療審議会について
  - ③ 福岡県医師会第3回地域医療構想プロジェクト委員会について
  - ④ 第4回地域医療構想合同研究会に

ついて

- ⑤ 「地域医療構想調整会議」第2回合同会議開催について

- ⑥ 第1回「福岡県地域医療構想調整会議」を経た今後の対応について

- (4) 「国民医療を守るための福岡総決起大会」について

- (5) 「いきいき生きるin北九州」後援名義について

- (6) その他

## 3. 報告事項

- (1) 県医師会第1回病院委員会
- (2) その他

## 4. 協会及び関係団体事業報告

- (1) 私設病院協会11月の動き
- (2) 看護学校
- (3) 医療関連協業組合
- (4) 厚生年金基金
- (5) 全日病本部

## ◎第2回合同会議

(地域医療構想調整会議私病協代表委員会議)

日 時 12月8日（火）午後5時30分～  
場 所 稚加榮  
議 題

## 1. 会長あいさつ

## 2. 協議事項

- (1) 第1回「福岡県地域医療構想調整会議」開催状況について

- (2) 第1回「福岡県地域医療構想調整会議」を経た今後の対応について

- (3) その他

## 理事会

### ◎第29回 理事会 報告書

日 時 平成27年12月8日 (火)

16:00~16:50

場 所 ホテルセントラーザ博多 4階「千鳥の間」

福岡市博多区博多駅中央街4-23

出席者 (敬称略)

会 長 石橋

副会長 竹中

理 事 上野専務理事、安藤総務理事、平  
財務理事、津田企画理事、飯田、  
一宮、小野、壁村、小柳、島、寺坂、  
中山、二宮、村中

監 事 福重、八木

議 長 岡嶋

副議長 梅野

顧 問 草場

#### I 行政等からの通知文書の伝達(安藤総務理事)

該当なし

#### II 公益目的事業関係

##### 1 報告事項

###### (1) 各種委員会・研修会関係

###### 【開催予定】

###### ア 第1回 経営管理委員会

(前回津留担当理事から報告済み)

日 時 平成 27 年 12 月 17 日 (木)

15:00~

場 所 国家公務員共済組合連合会  
浜の町病院 3階 第3会議室

###### 協議事項

1 次回研究会(3月開催予定)のテー  
マについて

2 その他

###### イ 第145回 看護研修会

(第26回理事会で寺坂担当理事から報告済み)

日 時 平成 27 年 12 月 18 日 (金)

9:50~

場 所 ナースプラザ福岡「研修ホール」  
テーマ 「認知症を持つ人の理解とケア」

I 「せん妄ケアに苦しむ大学病院で  
ユマニチュードを導入して」

東京医科歯科大学医学部附属病院  
副看護部長 平野 博美 氏

II 「急性期病院で治療を受ける認知  
症高齢者の看護」～入院から  
地域連携まで～

福岡大学病院

認知症認定看護師 岩本 知恵美 氏

III 「治療を行う上での認知症ケア～  
患者と組織の双方に配慮する必  
要性～」

東京都健康長寿医療センター  
研究所 研究員 伊藤 美緒 氏

#### ウ 第2回 リハビリテーション委員会

(小柳担当理事)

日 時 平成 28 年 1 月 14 日 (木)

15:30~

場 所 未定

###### 協議事項

1 第1回リハビリテーション研修  
会・委員会報告

2 第2回リハビリテーション研修  
会の開催について

3 その他

#### エ 第2回 看護委員会 (寺坂担当理事)

日 時 平成 28 年 1 月 27 日 (水)

13:30~

場 所 九州大学医学部百年講堂 会議室1

###### 協議事項

1 平成 27 年度 看護研修会の反省  
について

2 平成 28 年度 看護研修会の開催  
について

3 その他

#### オ 平成 27 年度 病院システム管理研修会

(前回壁村担当理事から報告済み)

日 時 平成 28 年 1 月 30 日 (土)

13:25~

場 所 九州大学医学部百年講堂  
「中ホール 1、2」

テーマ 「最近の統一化に向けた精度管理の動き」

特別講演「医療資源としての検査データのデータベース化を目指した精度管理」

講師 熊本大学医学部附属病院  
中央検査部技師長  
池田 勝義 氏

講演Ⅰ 「生化学の精度管理」

講師 福岡市立病院機構  
福岡市民病院  
検査部副技師長  
坂本 徳隆 氏

講演Ⅱ 「輸血検査の精度管理について」

講師 久留米大学病院  
臨床検査部主任技師  
江頭 弘一 氏

講演Ⅲ 「生理検査の精度管理について」

講師 社会医療法人雪の聖母会  
聖マリア病院  
中央臨床検査センター  
副技師長 池上 新一 氏

講演Ⅳ 「微生物検査の精度管理について」

講師 佐賀大学医学部附属病院  
検査部微生物検査室係長  
草場 耕二 氏

③ その他

(2) 第 28 回理事会の議事録について

(上野専務理事)

(3) 収入・支出内訳表 (10 月分) について

(平財務理事)

・当日配布資料に基づき報告された。なお、県からの補助金 (611 万円) については、12 月 4 日に入金があったことを併せて報告された。

## 2 協議事項

(1) 「平成 27 年度 参与・各種委員会正副委員長・役員懇談会」について

(上野専務理事)

・昨年同様、事前に提出された報告書を基に委員長から報告して頂き、担当理事からの委員会紹介は簡潔にすることを要請された。

(2) 「地域医療構想策定」に係る対応等について (上野専務理事)

① 「福岡県地域医療構想調整会議」(各医療圏で開催) 報告等について

・安藤理事から福岡糸島の会議 (11/25 開催) の概要を報告され、寺坂理事及び津田理事が補足された。また、中山理事から直方鞍手の会議 (12/1 開催) について、前回欠席の二宮理事から筑紫の会議 (11/9 開催) の概要を報告された。

・竹中副会長から医療審議会 (11/19 開催) での審議を踏まえて、「地域包括ケア病床」及び「流入出」問題について報告があり、寺坂理事、島理事、村中理事及び津田理事が補足された。

(3) 第 21 回 四県病院協会連絡協議会の提出議題等について (上野専務理事)

・岡山県で 1 月 22 日に開催予定。本県提出議題としては、医療事故調査制度に関する支援団体向け研修会及び病院向け研修会 (福岡県医師会が担当) 予定されており、これを紹介する。4 名出席予定。

(4) 「平成 28 年度 第 10 回県民公開医療シン

## Ⅲ 法人事務等関係

### 1 報告事項

(1) 各種委員会関係

【開催結果】

ア 第 9 回 ほすびたる編集委員会

(岡嶋編集委員長)

日 時 平成 27 年 12 月 8 日 (火)

15 : 40 ~

場 所 ホテルセントラーザ博多

4 階「菊の間」

協議事項

① 12 月号の現況について

② 1 月号、2 月号、3 月号の編集計画

ポジウム」について（竹中副会長）

- ・次回は福岡市で開催予定。当番役員として壁村理事を推薦されたところ拍手をもって承認された。

(5) 院長交代に伴う入会申込み及び大学病院長の交代に伴う取扱いについて

（上野専務理事）

- ・福岡大学病院では、田村前病院長から井上新病院長に交代された（12月1日就任）。
- ・上野専務理事から、新病院長を大学病院の理事として2月理事会で告知し、3月開催予定の臨時会員総会で承認のうえ、その後の理事会で副会長として推挙することを提案されたところ、特に異議なく承認された。

### 3 その他【開催予定】（上野専務理事）

(1) 平成 27 年 12 月

ア 参与・各種委員会正副委員長・役員懇談会及び懇親会

日時 平成 27 年 12 月 8 日（火）

17：00～

※ 懇親会 18：20～

場所 ホテルセントラーザ博多

(2) 平成 28 年 1 月

ア 第 21 回 四県病院協会連絡協議会

日時 平成 28 年 1 月 22 日（金）

15：00～

場所 岡山市

（ホテルグランヴィア岡山）

- ・現時点では、竹中副会長、上野専務理事など4名出席予定。他県病院協会の情報を得ることは有意義であり、役員の出席を要請された。

イ ほすびたる編集委員会・理事会

日時 平成 28 年 1 月 26 日（火）

① 15：45～

ほすびたる編集委員会

② 16：00～ 理事会

場所 福岡県医師会館 6階 研修室 3

(3) 平成 28 年 2 月

ア ほすびたる編集委員会・理事会

日時 平成 28 年 2 月 23 日（火）

① 15：45～

ほすびたる編集委員会

② 16：00～ 理事会

場所 福岡県医師会館 6階 研修室 3

(4) 平成 28 年 3 月

ア ほすびたる編集委員会・理事会・臨時会員総会

日時 平成 28 年 3 月 22 日（火）

① 15：45～

ほすびたる編集委員会

② 16：00～ 理事会

③ 17：00～

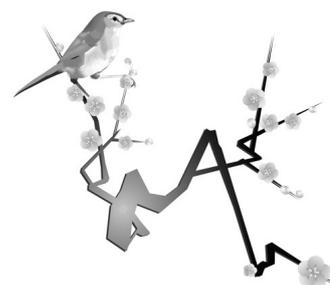
平成 28 年度臨時会員総会

（事業計画・予算）

場所 未定

### 4 最近の医療情勢について

- ・中山理事から、地域医療構想調整会議における議論のための資料等に関する質問があり、竹中副会長から、県にデータ閲覧用の端末があるが扱いにくいことなどを回答された。
- ・安藤理事から、数値目標（参照値）に関して、また慢性期病棟に関して意見を述べられた。





## 久留米大学病院

病院長 坂本 照夫

〒 830-0011  
福岡県久留米市旭町 67 番地  
電話 (0942)35-3311 FAX (0942)32-6278  
URL <http://www.hosp.kurume-u.ac.jp>

地方独立行政法人 福岡市立病院機構  
**福岡市民病院**

院長 竹中 賢治

〒 812-0046  
福岡市博多区吉塚本町 13 番 1 号  
電話 (092)632-1111 FAX (092)632-0900  
E-mail: [shiminbyoin@fcho.jp](mailto:shiminbyoin@fcho.jp)  
URL <http://www.fcho.jp/shiminhp>

独立行政法人 国立病院機構  
**福岡東医療センター**

院長 上野 道雄

〒 811-3195  
福岡県古賀市千鳥 1 丁目 1 番 1 号  
電話 (092)943-2331 FAX (092)943-8775  
E-mail: [shomu@fukuokae2.hosp.go.jp](mailto:shomu@fukuokae2.hosp.go.jp)

 日本医療機能評価機構認定病院  
救急告示・開放型 臨床研修病院指定



医療法人  
**西福岡病院**

理事長 安藤 文英  
院長 中垣 充

〒 819-8555  
福岡市西区生の松原 3 丁目 18 番 8 号  
電話 (092)881-1331 FAX (092)881-1333  
E-mail: [jim@nishifukuhp.or.jp](mailto:jim@nishifukuhp.or.jp)  
URL <http://www.nishifukuhp.or.jp>

医療法人

## 原 三 信 病 院

理事長 平 祐 二  
院 長

〒 812-0033  
福岡市博多区大博町 1 番 8 号  
電 話 (092)291-3434 FAX (092)291-3424  
E-mail:hsg-h-s@harasanshin.or.jp  
URL <http://www.harasanshin.or.jp>

医療法人社団 益豊会

## 今 宿 病 院

理事長 深 堀 元 文  
院 長

〒 819-0167 福岡市西区今宿 2 丁目 12 番 7 号  
電 話 (092)806-0070 FAX (092)806-4417  
E-mail:info@imajuku-hospital.gr.jp

【関連施設】博多祇園メンタルクリニック  
〒 812-0038 福岡市博多区祇園町 4 番 61 号  
FORECAST 博多祇園 3 階  
電 話 (092)262-6161 FAX (092)262-6162

## 福岡市医師会成人病センター

院 長 壁 村 哲 平

〒 814-8522  
福岡市早良区祖原 15 番 7 号  
電 話 (092)831-1211 FAX (092)831-3398  
E-mail:seijin@city.fukuoka.med.or.jp  
URL <http://www.fma-hp.or.jp>



医療法人 福岡桜十字

## 桜 十 字 福 岡 病 院

理事長 今 村 博 孝  
院 長

〒 810-0004  
福岡市中央区渡辺通 3-5-11  
電 話 (092)791-1100 FAX (092)791-1105  
E-mail:fukuoka.info@sakurajyuji.jp

医療法人

## つ く し 会 病 院

理事長 中 村 奎 吾  
院 長 脇 坂 愛 次 郎

〒 816-0902  
福岡県大野城市乙金 3 丁目 18 番 20 号  
電 話 (092)503-2261 FAX (092)503-2474

医療法人社団 福光会

## 福 田 眼 科 病 院

理事長 福 田 量  
院 長 江 島 哲 至

〒 814-0013  
福岡市早良区藤崎 1 丁目 24 番 1 号  
電 話 (092)841-2345 FAX (092)841-2649  
E-mail:fukudaganka@nifty.com  
URL <http://www.fukudaganka.jp>

医療法人 聖ルチア会

## 聖ルチア病院

理事長 大治 太郎  
院長

〒 830-0047  
福岡県久留米市津福本町 1012 番地  
電話 (0942)33-1581 FAX (0942)33-1586  
E-mail: info@st-lucia.or.jp  
URL <http://www.st-lucia.or.jp>

医療法人社団 水光会

## 宗像水光会総合病院

理事長 津留 英智  
院長 田山 慶一郎

〒 811-3298  
福岡県福津市日蔭野 5 丁目 7 番地の 1  
電話 (0940)34-3111 FAX (0940)43-5981  
E-mail: hosp@suikokai.or.jp

地域医療支援病院  
日本医療機能評価機構認定病院

## 糸島医師会病院

院長 富田 昌良

〒 819-1112  
福岡県糸島市浦志 532 番地 1  
電話 (092)322-3631 FAX (092)322-3774  
E-mail: info@itomedhp.jp  
URL <http://itomedhp.jp>

— 基本理念 —

こどものいのちと健康をまもる  
～すべてのこどもとご家族の明るい未来を願って～



地方独立行政法人 福岡市立病院機構  
福岡市立こども病院

院長 原 寿郎

〒 813-0017  
福岡市東区香椎照葉 5 丁目 1 番 1 号  
電話 (092)682-7000 FAX (092)682-7300  
E-mail: f-kodomo@fcho.jp  
URL <http://www.fcho.jp/childhp>

独立行政法人 国立病院機構

## 小倉医療センター

院長 澄井 俊彦

〒 802-8533  
福岡県北九州市小倉南区春ヶ丘 10 番 1 号  
電話 (093)921-8881 FAX (093)922-5072  
URL <http://www.kokura-hp.jp>

医療法人社団 俊聖会

## 甘木中央病院

理事長 中村 雅史

〒 838-0068  
福岡県朝倉市甘木 667  
電話 (0946)22-5550 FAX (0946)24-3572  
E-mail: ama-chuo@juno.ocn.jp

医療法人社団 久英会

## 高良台リハビリテーション病院

理事長  
院長 中尾 一久

〒 830-0054  
福岡県久留米市藤光町 965 番地の 2  
電話 (0942)51-3838 FAX (0942)51-3535  
E-mail:kouradai-web@kyueikai.jp

## 早良病院

院長 梅野 守男

〒 819-0002  
福岡市西区姪の浜 2 丁目 2 番 50 号  
電話 (092)881-0536 FAX (092)883-8761  
URL <http://www.sawara-hp.jp>

医療法人社団 江頭会

## さくら病院

理事長  
院長 江頭 啓介

〒 814-0142  
福岡市城南区片江 4 丁目 16 番 15 号  
電話 (092)864-1212 FAX (092)865-4570  
E-mail:info@sakurahp.or.jp

社会医療法人財団 池友会

## 福岡和白病院

理事長 蒲池 眞澄  
会長 伊藤 翼  
院長 富永 隆治

〒 811-0213  
福岡市東区和白丘 2 丁目 2-75  
電話 (092)608-0001 FAX (092)607-3051  
E-mail:info@f-wajirohp.jp  
URL <http://www.f-wajirohp.jp>

国家公務員共済組合連合会

## 千早病院

院長 明石 良夫

〒 813-8501  
福岡市東区千早 2 丁目 30 番 1 号  
電話 (092)661-2211 FAX (092)683-0411  
E-mail:chihaya@chihaya-hp.jp

医療法人 洗心会

## 児嶋病院

院長 児嶋 良太

〒 820-0042  
福岡県飯塚市本町 19-32  
電話 (0948)22-1498 FAX (0948)28-8131  
E-mail:khp2@d7.dion.ne.jp

独立行政法人 地域医療機能推進機構  
**福岡ゆたか中央病院**

院長 **野田 晏 宏**

〒 822-0001  
福岡県直方市感田 523 番地 5  
電話 (0949)26-2311 FAX (0949)26-6748  
E-mail:main@fukuoka.jcho.go.jp  
URL <http://fukuoka.jcho.go.jp>

特定医療法人社団 三光会  
**誠愛リハビリテーション病院**

理事長  
院長 **井 林 雪 郎**

〒 816-0956  
福岡県大野城市南大利二丁目 7 番 2 号  
電話 (092)595-1151 FAX (092)595-1199  
E-mail:soumu@seiai-riha.com  
URL <http://www.seiai-riha.com>

公益財団法人 健和会  
**健和会大手町病院**

理事長 **三 宅 昌**  
院長 **西 中 徳 治**

〒 803-8543  
北九州市小倉北区大手町 15-1  
電話 (093)592-5511 FAX (093)592-2726  
URL <http://www.kenwakai.gr.jp>

福岡県立精神医療センター  
**太 宰 府 病 院**

院長 **二 宮 英 彰**

〒 818-0125  
福岡県太宰府市五条 3 丁目 8 番 1 号  
電話 (092)922-3137 FAX (092)924-4060  
E-mail:info@dazaifu-hsp.jp

一般財団法人 福岡県社会保険医療協会  
**社会保険仲原病院**

院長 **岡 嶋 泰 一 郎**

〒 811-2233  
福岡県粕屋郡志免町別府北二丁目 12 番 1 号  
電話 (092)621-2802 FAX (092)623-2247  
E-mail:nhp-jimu1@nakabaru-hp.jp

日本医療機能評価機構認定病院  
地域医療支援病院・災害拠点病院  
 社会福祉法人 **福 岡 県 済 生 会 支 部**

**福 岡 県 済 生 会  
二 日 市 病 院**

院長 **間 野 正 衛**

〒 818-8516  
福岡県筑紫野市湯町三丁目 13 番 1 号  
電話 (092)923-1551 FAX (092)924-5210  
E-mail:infosaisei@saiseikai-futsukaichi.org

医療法人 清和会

## 長 田 病 院

理事長 長 田 英 輔  
院 長 木 下 正 治

〒 832-0059  
福岡県柳川市下宮永町 523 番地 1  
電話 (0944)72-3501 FAX (0944)72-5027  
E-mail:nagatahp@smile.ocn.ne.jp

国家公務員共済組合連合会

## 新 小 倉 病 院

院 長 渋 谷 恒 文

〒 803-8505  
北九州市小倉北区金田 1 丁目 3 番 1 号  
電話 (093)571-1031 FAX (093)591-0553  
E-mail:kk-shinkokura@shin-kokura.gr.jp  
URL <http://www.shin-kokura.gr.jp>



社会福祉法人 恩賜財団 済生会

## 福 岡 県 済 生 会 飯 塚 嘉 穂 病 院

院 長 迫 康 博

〒 820-0076  
福岡県飯塚市太郎丸 265  
電話 (0948)22-3740 FAX (0948)29-1987  
E-mail:soumu@iizuka-kaho.jp



救急告示・開放型病院  
特定医療法人 八木厚生会

## 八 木 病 院

理事長 八 木 博 司  
院長代行 三 谷 昌 光

〒 812-0054  
福岡市東区馬出 2 丁目 21 番 25 号  
電話 (092)651-0022 FAX (092)631-1919  
URL <http://www.yagi.or.jp>

医療法人 佐田厚生会

## 佐 田 病 院

理事長 佐 田 正 之  
院 長 住 吉 金 次 郎

〒 810-0004  
福岡市中央区渡辺通 2 丁目 4 番 28 号  
電話 (092)781-6381 FAX (092)724-9411  
E-mail:info@sada.or.jp

医療法人 博愛会

## み や こ 京 都 病 院

理事長 岡 松 秀 一  
院 長

〒 824-0811  
福岡県京都郡みやこ町勝山箕田 298 番地  
電話 (0930)32-2711 FAX (0930)32-2848  
E-mail:miyako-post@miyako-hp.or.jp

医療法人 済世会

## 河野病院

理事長 河野 正美

院長 今泉 暢登志

〒 811-2413

福岡県糟屋郡篠栗町大字尾仲 139

電話 (092)947-0611 FAX (092)947-8598

E-mail:info@kawano-hp.com

公立学校共済組合

## 九州中央病院

病院長 飯田 三雄

〒 815-8588

福岡市南区塩原 3 丁目 23-1

電話 (092)541-4936 FAX (092)541-4540

URL <http://kyushu-ctr-hsp.com>



医療法人 徳洲会

## 福岡徳洲会病院

院長 海江田 令次

〒 816-0864

福岡県春日市須玖北 4 丁目 5 番地

TEL (092) 573-6622 FAX (092) 573-1733

E-mail:ftokushu@csf.ne.jp

URL <http://www.f-toku.jp>

地域がん診療連携拠点病院

地域医療支援病院

## 公立八女総合病院

企業長 小野 典之

〒 834-0034

福岡県八女市高塚 540 番地 2

電話 (0943)23-4131 FAX (0943)22-3185

E-mail:yame-general@yamehp.jp



社会福祉法人 恩賜財団 済生会

## 済生会福岡総合病院

院長 岡留 健一郎

〒 810-0001

福岡市中央区天神 1 丁目 3 番 46 号

電話 (092)771-8151 FAX (092)716-0185

E-mail:byoin@saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp

URL <http://www.saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp>

## 田川市立病院

田川市  
病院事業管理者 齋藤 貴生

病院長 鴻江 俊治

〒 825-8567

福岡県田川市大字楠 1700 番地 2

電話 (0947)44-2100 FAX (0947)45-0715

E-mail:shiritsubyouin@lg.city.tagawa.fukuoka.jp

URL <http://hospital.city.tagawa.fukuoka.jp>

社会医療法人 喜悦会

## 那珂川病院

理事長 井上史子  
院長 下川敏弘

〒811-1345  
福岡市南区向新町2丁目17-17  
電話 (092)565-3531 FAX (092)566-6460  
E-mail:mail@nakagawa-hp.com

## aih 飯塚病院

innovate and evolve

院長 増本陽秀

〒820-8505  
福岡県飯塚市芳雄町3番83号  
電話 (0948)22-3800 FAX (0948)29-5744  
URL <http://aih-net.com>



## 福岡赤十字病院

日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

院長 寺坂禮治

〒815-8555  
福岡市南区大楠3丁目1番1号  
電話 (092)521-1211 FAX (092)522-3066

社会医療法人 栄光会

## 栄光病院

理事長 下稲葉康之

〒811-2232  
福岡県糟屋郡志免町別府西3丁目8番15号  
電話 (092)935-0147 FAX (092)936-3370  
E-mail:eikoh@eikoh.or.jp  
URL <http://www.eikoh.or.jp>

## 福岡逋信病院

院長 津田泰夫  
副院長 和田寛也

〒810-8798  
福岡市中央区薬院二丁目6番11号  
電話 (092)741-0300 FAX (092)781-2563  
E-mail:fteisinhp@f-teisinhp.jp  
URL <http://www.hospital.japanpost.jp/fukuoka>



日本医療機能評価機構認定病院  
救急病院 指定自立支援医療機関(更生医療)

医療法人 シーエムエス

## 杉循環器科内科病院

理事長 杉健三  
院長

〒837-0916  
福岡県大牟田市大字田隈950-1  
電話 (0944)56-1119 FAX (0944)56-2077  
E-mail:info@sugi-hosp.jp  
URL <http://www.sugi-hosp.jp>

社会医療法人 雪の聖母会

## 聖マリア病院

理事長 井手 義雄  
院長 島 弘志

〒830-8543  
福岡県久留米市津福本町 422 番地  
電話 (0942)35-3322 FAX (0942)34-3115  
E-mail:info@st-mary-med.or.jp

社会医療法人 雪の聖母会

## 聖マリアヘルスケアセンター

理事長 井手 義雄  
院長 井手 睦

〒830-0047  
福岡県久留米市津福本町 448 番 5  
電話 (0942)35-5522 FAX (0942)31-3216  
E-mail:info@st-mary-med.or.jp

一般財団法人

## 福岡県社会保険医療協会

会長 吉村 恭幸

〒810-0001  
福岡市中央区天神 3 丁目 7 番 31 号  
N 天神ビル 2 階  
電話 (092)741-9120 FAX (092)751-5910  
E-mail:k-yoshimura@iryokyokai.or.jp  
<http://www.iryokyokai.or.jp>

独立行政法人国立病院機構

## 九州がんセンター

院長 藤 也寸志

〒811-1395  
福岡市南区野多目 3 丁目 1 番 1 号  
電話 (092)541-3231 FAX (092)551-4585  
E-mail:601sy01@hosp.go.jp  
<http://www.ia-nkcc.jp>

国家公務員共済組合連合会

## 浜の町病院

院長 一 宮 仁

〒810-8539  
福岡市中央区長浜 3 丁目 3 番 1 号  
電話 (092)721-0831 FAX (092)714-3262  
E-mail:info@hamanomachi.jp  
URL <http://www.hamanomachi.jp>



\*掲載は受付順にさせていただきました。

新年あけましておめでとうございます。

平成28年度第1号の「ほすびたる」をお届けします。

内外ともにいろいろな問題を抱えながらの年越しとなりましたが、幸いお天気には恵まれ、皆様方には気持ちの良い新年を迎えられたことと存じます。

今月号は冒頭に、小川福岡県知事、松田福岡県医師会会長、それに我が福岡県病院協会の石橋会長の3名の方々から新年のご挨拶をいただき、新しい年の抱負を語っていただきました。また会員の皆様方よりは、お年賀のご挨拶を多数お寄せいただきました。編集委員会を代表しまして、心より御礼を申し上げます。

今月号より、安田宏一先生に加えて、九州医療センターの吉住秀之先生にエッセイを執筆していただくことになりました。本誌の幅がさらに広がり、読者の皆様にもより楽しんでいただけるものと思っております。

さて、本号も会員病院の皆様より、多数の素晴らしい原稿をお寄せいただき、新年号にふさわしい充実した誌面となりました。ご寄稿いただきました方々に深謝申し上げます。

このように充実した今月号の編集後記には何を書こうか、と考えたのですが浅学非才の身、なかなか知恵が出てきません。そこで苦肉の策として、「ほすびたる」編集委員会のメンバーで新春お芝居大会を開催することにしました。題して「エバラのある料理店」。委員全員に加え、事務局の皆さんも登場しますので最後までツツツとお楽しみあれ。

### 「エバラのある料理店」

(申年記念新春特別公演。「ほすびたる」編集委員会一座)

孤独なグルメを愛するオカジマは、今日もランチを求めて上野の町界隈をさまよっていた。石橋があり、たたいてわたると、突然森の中にまぎれこんだ。しばらく歩くと、やがて平らな場所に出た。そこは草深い荒地だった。草場の陰から小さな食堂がみえる。興にかられて入ってみた。メニューをみると、アンドーナツが売り物の店のようだ。竹の中に入れて供されるコーヒーもうまそうだ。サルによく似た店主が言った。「こりゃー、かっぱコーヒーつうだ。う

めえぞー」。そこに、習い事のけいこ帰りらしい女性が3人連れ立って入ってきた。顔はマフラーでよく見えないが、常連客のようだ。「いつものエバラ、お願いね」と慣れた口調で注文する。(ムッ、エバラ？何か特別のメニューか?) オカジマは女性客の前に出された料理に目を見張った。それは山盛りのアンドーナツになにかがかかっている。「あの一、すみません。私にもエバラを下さい」。オカジマが恐る恐る注文した。店主が応じた。「お客さん、これはドーナツに焼肉のたれをかけたものですよ。人様の食うもんじゃねえよ」。店主の顔はサルそのものだ。振り返って、マフラーをはずしてエバラを食べている女性たちをみるとみんなサルだ。驚きのあまり、勘定も払わずに店を飛び出し、一目散に駆けた。店主の怒鳴り声が聞こえた。「また、馬鹿な人間がエボラとエバラを間違えてやがる!もう来るな!」。息を切らしながら走っていると、先ほど渡った石橋まで戻っていた。今度は石橋をたたいてはいけないと思い、撫でて渡った。渡り終えて振り返ると、なんと、森は消えていた。そこに、近くの神社の神主ハチヤと巫女のナガヌマが現れた。ハチヤが言った。「ここで石橋を見たでしょう。この橋はたたいて渡ると異界に入り、撫でてわたると元の世界に戻るのです。いや、元に戻ってよかった」。巫女のナガヌマがおみくじをもっていた。1つもらって読んでみた。エボラ:終息する、「ほすびたる」:もっと面白くなり、ますます読まれる。と、書かれている。まわりを見渡すと、なぜか上野の町が笑っているように見えた。

Fine.

さて、編集委員の方がどこに出ているか、お判りでしょうか?おひとりだけ苗字ではなくファーストネームで出ています。「ほすびたる」最終頁の編集委員の名前と照らし合わせてお読みください。えっ、こんなつまらない猿芝居はもうやめろ!ですって? ごもっともです。どうも失礼いたしました。

今年も「ほすびたる」、どうぞよろしく願い申し上げます。

(岡嶋 泰一郎 記)

## 平成27年度 病院システム管理研修会の案内

テ ー マ 「最近の統一化に向けた精度管理の動き」

開 催 日 平成28年 1 月30日（土）13：00～16：50

場 所 九州大学医学部百年講堂（中ホール1・2）  
福岡市東区馬出3丁目1-1

参 加 料 会員病院 1人につき 2,500円  
会員外病院 1人につき 3,000円

特別講演 「医療資源としての検査データのデータベース化を目指した精度管理」  
熊本大学医学部附属病院 中央検査部 技師長 池田 勝義

講演Ⅰ 「生化学の精度管理」 福岡市立病院機構福岡市民病院 坂本 徳隆  
検査部 副技師長

講演Ⅱ 「輸血検査の精度管理について」 久留米大学病院 江頭 弘一  
臨床検査部 主任技師

講演Ⅲ 「生理検査の精度管理について」 社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院 池上 新一  
中央臨床検査センター 副技師長

講演Ⅳ 「微生物検査の精度管理について」 佐賀大学医学部附属病院 草場 耕二  
検査部微生物検査室 係長

\*お問合せは福岡県病院協会事務局（電話 092-436-2312）までお願いいたします。

ほすぴたる 第 696 号

平成 28 年 1 月 20 日発行

発 行 © (公社)福岡県病院協会  
〒812-0016 福岡市博多区博多駅南 2 丁目 9 番 30 号  
福岡県メディカルセンタービル 2F  
TEL092-436-2312 / FAX092-436-2313  
E-mail: fukuoka-kenbyou@globe.ocn.ne.jp

編 集 発行人 © (公社)福岡県病院協会

制 作 © (株)梓 書 院  
〒812-0044 福岡市博多区千代 3 - 2 - 1  
麻生ハウス 3F  
TEL092-643-7075 / FAX092-643-7095  
E-mail: mail@azusashoin.com

編 集 主 幹…石橋 達朗

編 集 委 員 長…岡嶋泰一郎

編 集 副 委 員 長…竹中 賢治

編 集 委 員…上野 道雄・安藤 文英  
平 祐二・津田 泰夫  
草場 公宏・塚崎 恵子